

JGKA 管理番号	事故発生日	公表日	製品名	事故発生 場所	被害状況		事故の内容	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
					物的被害	人的被害			
B1G13- 261	2013/07/05	2013/08/08	ガス給湯付ふろがま (LPガス用)	神奈川県	—	—	(CO中毒、死亡1名)当該製品が設置された浴室で倒れて病院へ搬送され、後日死亡した。	○使用者は、浴室の洗い場で倒れており、発見時に当該製品のシャワーから温水が出ていた。○使用者の死因は急性一酸化炭素中毒だった。○当該製品の排気ガスから5000ppmを超える一酸化炭素が検出されたほか、製品外装板上部のガリから、最大1020ppmの一酸化炭素が検出された。○シャワー運転時の浴室内の一酸化炭素の濃度は、洗い場床面から80cmの高さで最高470ppmであった。○当該製品の給湯側熱交換器が閉塞しており、内部に付着物が認められた。付着物を取り除いたところ、一酸化炭素濃度は低下し、基準値(400ppm)を下回った。○付着物の主成分は、製品に使用されていないケイ素で、発生と付着に至った経緯は特定できなかった。○ふろ熱交換器に複数回の空だきの痕跡が認められ、給湯側熱交換器の下部に過熱の痕跡と欠損が認められた。○外装下部のふろ熱交換器側が変形していたほか、底板脚が欠損していた。○当該製品のバフラー部に、温度検知型の排ガス逆流防止装置が取り付けられていた。 ●当該製品の給湯熱交換器にケイ素が付着した経緯が特定できず、事故原因の特定には至らなかったが、付着物を取り除いて運転したところ一酸化炭素濃度は基準値内になったことから、付着物によって給湯側熱交換器の閉塞したために一酸化炭素が発生し、事故に至ったものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。	製造から10年以上経過した製品。
B1G13- 260	2013/03/06	2015/10/07	ガス瞬間湯沸器(LPガス用、開放式)	千葉県	—	—	(火災)当該製品の点火操作を行ったところ、爆発する火災が発生し、当該製品及び周辺を焼損した。	○当該製品からのガス漏れは認められなかった。○当該製品下側に取り付けられている電池ケース及び電子ユニットケースが焼損しており、焼損の度合いは、内部よりも外側が激しかった。○当該製品にはガスホースが接続されており、当該製品との接続部付近のガスホース表面に焦げ跡が認められ、ガスホースとの接続部からガス漏れが認められた。○ガスホースの接続口に取り付けられているパッキンが欠損していた。○当該製品にガスホースが接続された経緯については、誰が工事を行ったのかも含め、特定できなかった。 ●当該製品にガスホースが取り付けられた経緯が特定できなかったため、事故原因の特定には至らなかったが、当該製品にガス漏れ等の異常が認められず、ガスホースのパッキンに欠損が認められたことから、ガスホースのパッキンの欠損によって当該製品との接続部からガス漏れが発生して事故に至ったものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。	A201300207(継手ホース(LPガス用))と同一事故。使用期間:不明(製造時期から約6年と推定)
B1G13- 259	2013/04/29	2015/10/07	ガスカートリッジ直結型 ガスこんろ	埼玉県	—	—	(火災、軽傷1名)当該製品に鉄板焼器を載せて使用中、消火してガスボンベを取り外したところ、漏洩したガスに引火する火災が発生し、当該製品及び周辺を焼損、1名が火傷を負った。	○当該製品は、各口にガスボンベをねじ込んで直結する2口のガスコンロであった。○使用者は、当該製品全体を覆う大きさの鉄板を載せて当該製品を使用した。使用中、火力調節ができなくなったこととガスボンベの温まり方を気にしていたところ、左側バーナーの火が消えたため、右側の火が付いたまま左側のガスボンベを取り外した。その際、外したガスボンベから漏れ出たガスに右側バーナーの火が引火した。○事故発生から約2時間後に右側のガスボンベを外したところ、ガスが噴出した。○使用していたガスボンベは当該製品と同一ブランドの対応品であり、2本ともステムが溶融していた。○同等品に市販の鉄板(W600×D440mm)を載せて右バーナーのみ点火し、ガスボンベのステム近傍温度を計測したところ、点火後6分50秒でステム材質の熱変形温度である110℃に達した。 ●当該製品を鉄板で覆って使用したために強いふく射熱がガスボンベに加わりステムが溶融し、右側バーナーの火を消さずに左側ガスボンベを取り外したため、ガスボンベから漏れ出たガスに右側バーナーの火が引火し、火災に至ったものと推定される。	

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故
 ※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
 ※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	公表日	製品名	事故発生 場所	被害状況		事故の内容	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
					物的被害	人的被害			
B1G13-258	2013/05/09	2015/10/07	ガスこんろ(都市ガス用)	神奈川県	—	—	(火災)当該製品を使用中、外出し戻ったところ、当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生していた。	○使用者は、当該製品のグリルバーナーに点火して魚を焼き始めたあと、そのまま外出した。○約50分後に使用者が帰宅したところ、グリル排気口付近より煙が出ていた。○事故品のグリル庫内と水入れ皿には、食材及び庫内に付着した油脂物が炭化するとともに、グリルケース内の左右側面及び奥面には過熱痕が確認された。○グリルケースの左側面が変色しており、その近傍にあった小コンロ用器具栓セットが熱の影響で破損し、器具栓防熱板に付着していた油脂が焼損した跡が確認された。 ●使用者が当該製品のグリルを点火したまま外出したために、グリルが異常高温となって内部の食材等が着火し、グリル近傍にあった器具栓防熱板に付着していた油脂等が燃えたものと推定され、製品に起因しない事故と推定される。なお、取扱説明書には、「火をつけたまま就寝や外出をしない。火をつけたまま離れない。」旨、記載されている。	
B1G13-257	2013/05/03	2015/10/07	ガスこんろ(都市ガス用)	神奈川県	—	—	(火災、重傷1名)当該製品及び周辺を焼損する火災が発生し、1名が火傷を負った。	○当該製品は事故時に使用中であったが、使用状況の詳細については特定できなかった。○事故後、当該製品の傍らには焦げた鍋が落ちており、当該製品の火はついていない。○当該製品にガス漏れ等の異常は認められず、正常に点火・消火操作を行うことができた。 ●当該製品の使用状況が不明なことから、事故原因の特定には至らなかったが、当該製品に異常が認められないことから、製品に起因しない事故と推定される。	
B1G13-256	2013/05/16	2015/10/07	ガス栓(LPガス用)	群馬県	—	—	(火災)当該製品に接続したガスこんろを使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○当該製品はヒューズ機構付きの2口ガス栓であり、片側にガスこんろが接続されていた。○使用者は、当該製品の未使用の左側ガス栓のつまみを開いたが、ガスこんろが点火しないので、当該つまみを開いた状態で、ガスこんろに接続されている側のつまみを開いてガスこんろを点火し料理をしていた。○当該製品の未使用側ガス栓のホースエンドには、当該製品に付属のものではない一部が溶融した樹脂製キャップが取り付けられていた。○左右のガス栓の樹脂製つまみが焼損していたが、気密及びヒューズ性能等に異常は認められなかった。○左右のガス栓の内部のシール面、ゴムパッキン等には傷等の異常は認められなかった。 ●当該製品の気密及びヒューズ性能等に異常は認められなかったことから、樹脂キャップが取り付けられていた未使用側ガス栓のつまみを開いたまま、ガスこんろに接続されていた側のつまみを開いて調理を行ったため、樹脂キャップとホースエンド間から漏れたガスにガスこんろの火が引火し、事故に至ったものと推定される。	
B1G13-255	2013/05/27	2015/10/07	ガスこんろ(都市ガス用)	神奈川県	—	—	(火災)火災報知機が鳴動したため確認すると、当該製品から出火する火災が発生しており、当該製品及び周辺を焼損した。	○使用者は事故の約1時間前まで当該製品を使用していたが、火災発生時には当該製品は使われていなかった。○ベルトイン型の当該製品の下部には機器接続用ガス栓が取り付けられていた。○当該製品の底面部には、機器接続用ガス栓付近を中心にススが付着していた。○天板裏側にススの付着はなく、製品内部から出火した痕跡は認められなかった。○機器接続用ガス栓が損傷し、ガスが漏れていた。 ●当該製品に出火の痕跡が認められず、事故時にも使用されていなかったことから、機器接続用ガス栓から漏洩したガスに引火して事故に至ったものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。	A201300231(ガス栓(都市ガス用))と同一事故
B1G13-254	2013/03/06	2015/10/07	継手ホース(LPガス用)	千葉県	—	—	(火災)当該製品をガス瞬間湯沸器に接続して使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○当該製品のガス瞬間湯沸器との接続部付近に焦げ跡が認められた。○当該製品の接続口に取り付けられているパッキンが欠損していた。○当該製品と未使用の同等品を用いて気密試験を行った結果、当該製品ではパッキン部からガス漏れが認められたが、同等品ではガス漏れは認められなかった。○当該製品とガス瞬間湯沸器が接続された経緯については、誰が工事を行ったのかも含め、特定できなかった。○当該製品は、製造時に気密性の全数検査を受けており、異常が認められた製品はなかった。 ●当該製品がガス瞬間湯沸器に取り付けられた経緯が不明のため、事故原因の特定には至らなかったが、製造段階における当該製品の気密性に異常が認められないことから、使用期間中に生じたパッキン部の欠損によってガス漏れが発生し、ガス瞬間湯沸器の火で引火して事故に至ったものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。	A201201029(開放式ガス瞬間湯沸器(LPガス用))と同一事故

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故
 ※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
 ※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	公表日	製品名	事故発生 場所	被害状況		事故の内容	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
					物的被害	人的被害			
B1G13- 253	2013/06/23	2015/10/07	ガスこんろ(都市ガス用)	北海道	—	—	(火災)当該製品の点火操作を繰り返したところ、異音とともに当該製品の外装が変形した。	○当該製品内部から出火した痕跡は認められず、外部の焼損が著しかった。○右側こんろの器具栓スピンドルは燃焼状態の位置であった。○当該製品近辺のフライパンの中に燃えカスが残っていた。○使用者は事故発生当時寝込んでおり、当該製品を使用したかを含め、事故当時の詳細な状況を覚えていなかった。 ●当該製品は右側こんろが燃焼状態のまま放置されたため、周囲の可燃物に着火し、火災に至ったものと推定される。	
B1G13- 252	2013/06/26	2015/10/07	ガス給湯付ふろがま (LPガス用、密閉式(BF式))	神奈川県	—	—	(火災)当該製品の点火操作を繰り返したところ、異音とともに当該製品の外装が変形した。	○使用者は当該製品の器具栓つまみを押して点火ハンドルを回す動作をしたが、1回では着火しなかったため繰り返し点火操作を行ったところ、大きな音がした。○事故時に使用者が点火操作を何回繰り返したのか、又は何秒間行ったのかは、特定できなかった。○当該製品のフロントカバーや本体外装部の左右側面と後面は、外側に向かって膨らんでいた。○当該製品にガス漏れ、水漏れ、冠水の形跡はなかった。○当該製品のサーモカップル、点火確認メーター、火花の発生に異常は認められず、着火状態、燃焼状態も正常だった。 ●当該製品に異常が認められず、事故時に種火が着火しなかった原因は特定できなかったが、使用者が繰り返し点火操作を行ったために、未燃焼ガスが機器内部に滞留し、ガスが充満した状態で点火ハンドルを回して発火し、火災に至ったものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。なお、本体表示及び取扱説明書には、「点火しないときは、器具栓つまみを“止(0)”の位置に戻し、5分間は操作しない。」旨、記載されている。	・使用期間：不明(製造時期から3年4か月と推定)
B1G13- 251	2013/07/08	2015/10/07	ガスこんろ(LPガス用)	北海道	—	—	(火災)当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○使用者は左側こんろを使用後に外出した。その後、無人の台所が焼損した。○当該製品は全体的に焼損しており、点火ボタンなどの樹脂部品やグリル扉のガラスは溶融、焼失していた。○左側こんろは五徳の支え爪が熱で脱落するなど著しく焼損しており、溶融したフライパンが乗っていた。○本体外部は内部に比べて焼損が著しかった。○当該製品は10年以上前の製品で、調理油過熱防止装置は備えていなかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明なことから、事故原因の特定には至らなかったが、本体内部より外部の焼損が著しいことから、製品に起因しない事故と推定される。	
B1G13- 250	2013/07/30	2015/10/07	ガス栓(LPガス用)	北海道	—	—	(火災)当該製品に接続したガスこんろを点火したところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○当該製品はヒューズ機構付きニロガス栓であり、事故発生事、ガスこんろに接続されていた側のつまみは閉じており、未使用側のつまみが全開状態であった。○当該製品は、未使用側のガス栓には、ゴムキャップが取り付けられていたが、焼損により脱落していた。○当該製品の気密性能に異常はなく、つまみのぐらつきも認められなかった。 ●当該製品のゴムキャップが付けられていた未使用側のつまみを開いたまま、ガスこんろの点火操作をしたため、ゴムキャップの隙間から漏れたガスに引火し、火災に至ったものと推定される。	
B1G13- 249	2013/08/04	2015/10/07	ガスこんろ(LPガス用)	埼玉県	—	—	(火災)当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○事故発生時、使用者は当該製品で調理をしていた。○当該製品の周囲には、可燃物が多数あったほか、左側こんろの横のテーブルにはビニール袋があった。○事故後、当該製品の左側こんろの点火スイッチは点火状態のままだった。○当該製品の上面は左側こんろを中心に強く焼損しており、左側こんろの上にはビニール袋が溶けたと思われる異物が付着していた。 ●使用者が当該製品の周囲に可燃物を置いた状態で調理したために、バーナーの火が可燃物に燃え移り、火災に至ったものと推定される。なお、取扱説明書には、「機器の上や周囲には燃えやすいものを置かない」旨、記載されている。	

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故
 ※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
 ※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	公表日	製品名	事故発生 場所	被害状況		事故の内容	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
					物的被害	人的被害			
B1G13- 248	2013/09/22	2015/10/07	ガス瞬間湯沸器(LPガス用、屋外式(RF式))	東京都	—	—	(火災)飲食店で当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	<p>○飲食店の従業員が、事故発生の9日前に台風に備えて雨水が建物内に入らないように壁面にあったガラリをブルーシートで覆った。その際、ブルーシートは、ガラリの横に立て掛けられていた当該製品まで覆っていた。○事故発生時、当該製品は使用中で、ブルーシートが燃えていた。○当該製品は一般家庭用であるが、飲食店で業務用として使用されており、設計標準の2倍以上の使用時間が記録されていた。○当該製品には、事故以前に燃焼異常等のエラー表示が複数回出ていた記録が残っており、販売店は使用者に機器の買換えを勧めていたが、使用者は、エラー表示後も、リセットボタンを押して機器を継続使用していた。○当該製品のフロントカバーの給気通路部に大量のホコリとススが付着していた。○当該製品の熱交換器には多量のススが付着しており、90%以上の閉塞状態だった。○当該製品の作動確認をしたところ、排気口からスス、黒煙、異臭が発生し、最終的には火災が噴出した。</p> <p>●当該製品の熱交換器が閉塞して燃焼異常のエラー表示を発生していたにもかかわらず、使用者がエラー表示をリセットして機器を使い続けたために、排気口から火災が発生し、ブルーシートに引火して事故に至ったものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。なお、本体表示には、「機器本体や給排気部のまわりに燃えやすい物を置かない。火災の恐れあり。」の記載されている。また、取扱説明書には、「業務用のような使い方をしない。」「燃焼異常のエラー表示が出たときは、販売店または事業者へ連絡する」旨、記載されている。</p>	
B1G13- 247	2013/10/05	2015/10/07	ガスこんろ(都市ガス用)	広島県	—	—	(火災)当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。	<p>○当該製品を使用中、使用者はその場を離れていた。○当該製品は、汚れ防止のためトッププレートはほぼ全面がアルミ製シートとアルミ箔で覆われていた。○当該製品の右側こんろとグリルの操作ボタンが焼失し、内部の器具栓に焼損が認められた。○右側こんろの混合管の入口付近に焼損が認められ、右側バーナー下に位置する煮こぼれカバーの上には、炭化物が付着していた。</p> <p>●当該製品の右側こんろ混合管のガス通路部の一部が煮こぼれ等で塞がれ、また、トッププレート上のほぼ全面を覆っていたアルミ製シート及びアルミ箔がバーナー炎口を塞いでいたため、右側こんろの混合管入口付近でガスノズルから出たガスに引火し逆火になり、付近にあった器具栓等が焼損したものと推定される。なお、取扱説明書には、「火をつけたままの移動、外出、就寝禁止」、「一酸化炭素中毒や異常燃焼等の恐れがあるため、市販のアルミ箔製のしる受け皿を使用しない」旨、記載されている。</p>	
B1G13- 246	2013/08/17	2015/10/07	ガスこんろ(都市ガス用)	埼玉県	—	—	(火災)当該製品及び周辺が焼損する火災が発生した。	<p>○使用者は事故発生前に当該製品を使用しており、事故発生時には外出していた。○当該製品は焼損していたが、グリルの押しボタンに取り付けられていたロッドの焼き付きから、事故時にグリルは点火状態にあったと推定された。○当該製品にグリルの自動消火機能は搭載されていない。</p> <p>●当該製品のグリルを点火した状態で使用者が外出したために、当該製品が過熱して出火し、火災に至ったものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。</p>	
B1G13- 245	2013/10/14	2015/10/07	ガスこんろ(都市ガス用)	広島県	—	—	(火災)当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。	<p>○当該製品の本体底面の広範囲に錆が生じ、各こんろ及びグリルへガスを供給するメイン配管に、錆による穴が認められた。○グリル部の水受け皿は錆びており、奥側に腐食による穴が認められた。○左右混合管下にある煮こぼれカバーに、煮こぼれ跡及び錆の発生が認められた。○事故の2~3か月前から、当該製品の使用時にガス臭がしていた。</p> <p>●当該製品は、こんろ使用時の煮こぼれやグリル使用時の水受け皿の腐食による穴からの漏水により、内部の腐食が進行しメイン配管に穴が生じ、事故以前からの使用時のガス臭にもかかわらず継続使用したため、使用時に漏れたガスに引火し事故に至ったものと推定される。なお、取扱説明書には、「ガス漏れに気づいた時にはすぐに使用を中止し、ガス事業者まで連絡する」旨、記載されている。</p>	

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故
 ※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
 ※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	公表日	製品名	事故発生 場所	被害状況		事故の内容	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
					物的被害	人的被害			
B1G13- 244	2013/10/13	2015/10/07	ガスこんろ(LPガス用)	京都府	—	—	(火災)当該製品を使用中、当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。	○当該製品の両バーナーを使用後、グリルの排気口から炎が上がり、当該製品を焼損し、周囲を汚損した。○事故当日、当該製品のグリルは使用していなかった。○ガス通路に漏れは認められなかった。○当該製品の外観は、グリル排気カバーやグリル扉などグリル周辺の焼損が著しく、背面側もグリルを中心にススの付着が認められた。○グリル内の水入れ皿には、炭化した多量の堆積物が認められた。○本体内部は、グリルから左右に広がるようにススが付着し、グリル内部は鋼板の変色がひどく、高温になった様相を呈していた。 ●詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品にガス漏れ及び異常発火の痕跡がなく、当該製品のグリルの内部に多量の堆積物があり、グリル左右の腐食による開口部から左右のこんろ側に炎が噴き出たようにススの付着があることから、何らかの要因でグリル内の堆積物が発火したと考えられ、製品に起因しない事故であると推定される。	
B1G13- 243	2013/10/19	2015/10/07	ガスこんろ(都市ガス用)	大阪府	—	—	(火災)当該製品を使用中、建物を全焼する火災が発生し、1名が負傷した。	○使用者が、当該製品で鮭の切り身をグリルで調理中、その場を離れて戻ると当該製品から20～30cmの炎が出ていた。○当該製品は焼損が激しく、全体が焼損して変色し、樹脂部品は消失し、器具栓やバーナーヘッドが溶融していた。○グリルの金網の上には魚の切り身と考えられる塊が炭化物となって残っていた。○使用者の供述によれば、当該製品は約1年前に点検を受けて以降、現在まで不具合はなかった。 ●グリルの金網の上に魚の切り身を置いてグリルを点火し、その場を離れていたため、グリル内部で魚の脂などに着火し、火災に至ったものと推定される。なお、当該製品の取扱説明書には、「火をつけたままそばを離れない」旨、記載されている。	
B1G13- 242	2013/10/22	2015/10/07	ガスこんろ(都市ガス用)	兵庫県	—	—	(火災)当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○使用者が鶏肉をホーロー鍋に入れて当該製品の左側こんろに置いて火をつけ、その場を離れた後に台所に戻ったところ、鍋付近から煙や炎が上がり、当該製品及び周辺を焼損した。○当該製品は約10年前の製品で調理油過熱防止装置のないタイプの製品であった。○ガス導管にはガス漏れは認められなかった。○当該製品の背面にあるホースエンド周辺にはススの付着は認められなかった。○こんろ及びグリルには異常燃焼の痕跡は認められなかった。○ホーロー鍋には内部・側面・底部にススの付着が認められた。 ●当該製品に異常発火を示す痕跡は認められず、半解凍の鶏肉をホーロー鍋に入れてこんろを点火し放置したことで、鶏肉から出てきた脂肪が発火した事故であると推定される。なお、取扱説明書には、「火を付けたまま移動、外出、就寝しない」旨、記載されている。	
B1G13- 241	2013/11/09	2015/10/07	ガス迅速継手(都市ガス用)	東京都	—	—	(火災)ガスこんろを点火したところ、他のガス機器に接続していた当該製品を焼損する火災が発生した。	○当該製品はガスコード(5m)に装着されていた。○使用者は、当該製品を台所のガス栓に接続し、接続されているガスコードの一端をガスファンヒーターに接続して使用していた。○当該製品をガス栓に接続した翌日、当該製品の近くにあったガスこんろを点火したところ、当該製品付近から出火した。○ガスコードの当該製品に近い箇所折り曲げたような潰れが認められた。○当該製品の側面は、ガス栓との接続部を中心に焼損していた。○当該製品は、ガス栓のプラグ側に完全に差し込まれると、接続部が伸びてプラグ側に移動するが、当該製品の接続部の伸びた部分に焼損の痕跡やススの付着はなかった。○再現試験として、ガスコードの当該製品近傍をきつく曲げて、当該製品をガス栓に差し込んだところ、ガスコードが当該製品をガス栓に押しつける形となり、不完全な接続状態でもガスは流れた。○当該製品をガス栓と完全に接続した場合、ガス漏れは生じなかった。 ●当該製品をガス栓に接続したときの詳細な状況が不明なことから、事故原因の特定には至らなかったが、当該製品に異常が認められないことから、製品に起因しない事故と推定される。	

JGKA 管理番号	事故発生日	公表日	製品名	事故発生 場所	被害状況		事故の内容	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
					物的被害	人的被害			
B1G13- 240	2013/11/15	2015/10/07	ガスこんろ(LPガス用)	兵庫県	—	—	(火災)当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○使用者が右側こんろで片手鍋を用いて味噌汁を作る途中、他の作業をして目を離れたところ、グリルの排気口から炎が見えた。○外観は、グリル排気口付近にススの付着があり、背面側の焼損が激しかった。○グリル内部のグリル皿に焦げ、汚れ等はなかったが、グリル排気口の奥に食品カスと思われる焼損物が認められた。○こんろとグリルに異常燃焼の痕跡は無く、ガス通路にガス漏れは認められなかった。○片手鍋は焦げておらず、ススの付着も認められなかった。 ●使用者が当該製品の右側こんろを点火しようとした際、グリルを点火させたため、その排気熱で排気口内の食品カス等が燃焼し、火災に至ったものと推定される。	
B1G13- 239	2013/10/14	2015/10/07	ガスこんろ(都市ガス用)	愛知県	—	—	(火災)飲食店で当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○当該製品を消火したが、バーナー下側から炎が上がった。○当該製品の器具栓つまみ軸は消火位置になっており、器具栓及びガス導管に出火の痕跡は認められなかった。○バーナーキャップは著しく腐食劣化し、板厚が薄くなっていた。○腐食劣化したバーナーキャップで燃焼を行うと、燃焼炎が均一でなく、バーナー下側に炎が溢れることを確認した。 ●当該製品のバーナーキャップが著しく腐食劣化し、燃焼炎がこんろ下側に溢れる異常燃焼が生じていたため、こんろ下側に堆積した煮こぼれ等に着火し、火災に至ったものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。なお、取扱説明書には、「バーナーキャップは消耗品であり、目づまりや変形・破損した場合は交換する。」旨、記載されている。	
B1G13- 238	2013/11/23	2015/10/07	ガストーチ	静岡県	—	—	(火災、軽傷1名)当該製品にガスポンペを接続して使用しようとしたところ、当該製品を焼損する火災が発生し、1名が火傷を負った。	○当該製品を点火した際、ガスポンペ接続部から炎が上がって火傷した。 ○使用者は当該製品にガスポンペを装着時にガス漏れが生じることを認識しており、使用の都度ガスポンペを付け直し、ガス漏れが起きないようにして継続使用していたが、事故時は付け直した後にガス漏れの確認をしなかった。○当該製品のガスポンペ接続部には、ガスが漏れないようにリングが2つ取り付けられているが、ともに硬化・損傷していた。 ●当該製品はガスポンペ接続部のシール用リングが硬化・損傷し、ガスポンペ装着時にガス漏れが生じるようになっていたにもかかわらず、使用者が継続使用し、ガス漏れを確認せずに点火したこと、漏れていたガスに引火したものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。なお、取扱説明書には、「ガス漏れ時はタマネギが腐ったような臭いがします。絶対に火をつけない。」旨、記載されている。	
B1G13- 237	2013/12/04	2015/10/07	ガス瞬間湯沸器(都市ガス用、開放式)	新潟県	—	—	(火災、軽傷1名)事業所で当該製品の点火操作を行ったところ、引火し、1名が火傷を負った。	○塗装作業後に当該製品を使用し、点火時に当該製品付近で大きな炎が出ていた。○当該製品の外部や内部に出火の痕跡は認められなかった。○当該製品のガス通路にガス漏れは認められず、点火・着火は確実に、燃焼状態に異常は認められなかった。 ●事故当時の状況から、何らかの可燃性ガスが存在し、点火操作時のスパーク、または他の要因で引火した可能性が考えられるが、当該製品に異常は認められないことから、製品に起因しない事故と推定される。	・使用期間:1年半
B1G13- 236	2013/12/04	2015/10/07	ガス栓(都市ガス用)	大阪府	—	—	(火災)店舗で当該製品に接続されたガス炊飯器を移動させたところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○飲食店に設置された当該製品と接続された炊飯器を使用後、使用者がつまみを閉止せずに炊飯器を移動させたため当該製品からゴム管が外れ、漏れたガスに近傍の錆物コンロの火が着火し、当該製品のつまみと周辺にあったゴム管などを焼損した。○錆物コンロと当該製品の離隔距離や鍋の直径等は不明である。○内部を分解したところ、ヒューズボールの溶融が認められた。○当該製品は、全数性能検査を実施後出荷されている。 ●詳細な使用状況が不明のため事故原因の特定には至らなかったが、当該製品は外部からの受熱により製品内部のヒューズボールが溶融した状態で使用中、つまみを閉止しない状態で炊飯器を引っ張ったために繋がれていたガス管が当該製品から抜け、ガスが漏れてコンロの火に引火したものであり、当該製品は出荷時の全数検査においても異常がなかったことが確認されていることから、製品には起因しない事故と推定される。	

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故
 ※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
 ※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	公表日	製品名	事故発生 場所	被害状況		事故の内容	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
					物的被害	人的被害			
B1G13- 235	2013/12/18	2015/10/07	ガスこんろ(都市ガス用)	大阪府	—	—	(火災)当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○使用者が、こんろで卵焼きを調理中、火を消さずに調理したものをテーブルに運び火を消すために戻ったところ、グリルの排気口から20cmほどの炎が出て、当該製品と周囲の一部を焼損した。○当該製品内部の各こんろバーナーの周囲や右奥側に煮汁や油分の炭化した堆積物が確認され、当該製品背面には油が流れた跡が残っていた。○左右のこんろバーナーの混合管入口部に煮汁などの固まった堆積物が確認された。 ●当該製品は、使用者が使用時に何度も煮こぼれなどをした結果、炎口の隙間からこんろバーナーの混合管に煮汁などが入って固まった堆積物がガス経路を一部塞いで、ガスが混合管入口部より当該製品内部に溢れ、溢れたガスに引火して当該製品内部の煮汁や脂分等の堆積物に着火し、左側操作部周辺の可燃物に延焼し、火災に至ったものと推定される。なお、取扱説明書には、「バーナーに煮こぼれがかかった時はこまめに手入れする、煮こぼれがかかったまま放置すると炎口が詰まり機器内部で燃えることにより機器焼損のおそれがある」旨、記載されている。	
B1G13- 234	2013/12/31	2015/10/07	ガスこんろ(都市ガス用)	静岡県	—	—	(火災)当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○使用者は調理油を油凝固剤で固めて捨てるため、当該製品の右側こんろで調理油を加熱したが、火をつけたままその場を離れ、火をつけたことを忘れて外出していた。○当該製品には調理油過熱防止装置が装着されていなかった。 ●当該製品で調理油を加熱し、火をつけたままその場を離れたため、調理油が過熱して発火し、火災に至ったものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。なお、取扱説明書には、「火をつけたまま機器から離れない。」旨、記載されている。	
B1G13- 233	2013/11/28	2015/10/07	ガスこんろ(LPガス用)	静岡県	—	—	(火災)当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。	○当該製品の左側こんろを朝使用し、消火して外出したが、夕方に帰宅すると当該製品周辺が焼損していた。○当該製品外郭は左側こんろ背面のホースエンド周辺とゴム管が焼損し、天板も焼損していたが、ホースエンド部にガス漏れは認められなかった。○ゴム管はホースエンド側が焼損していた。ゴム管バンドは確認できなかった。○当該製品内部は背面側から前面側に焼損し、左側こんろの器具栓は熱影響によりガス漏れが生じる状態であったが、器具栓は「閉」になっていた。○左側こんろの温度センサーに異常は認められなかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため、事故原因の特定には至らなかったが、当該製品内部に出火の痕跡は認められないことから、外部からの延焼により焼損したものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。	
B1G13- 232	2013/05/26	2015/10/06	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用、密閉式(BF式))	東京都	右記参照	—	(火災)当該製品を点火して数時間後、確認するとガスメーターが作動して当該製品が停止していた。ガスメーター復帰後、再度点火し追い焚きしたところ、当該製品を焼損する火災が発生した。	○使用者は当該製品でふろを沸かしたまま寝入ってしまい、約4時間後に目覚めたときには、浴槽内の水は熱湯状態になっており、ガスメーターが作動して当該製品の燃焼は停止していた。○使用者が当該製品を再点火したところ、浴室の壁内から煙が出始めた。○使用者宅は木造戸建て住宅であり、浴室の内壁と外壁の間には木ずりが入っていた。○浴槽と浴室内壁の間に設置された当該製品は、外装の右側面が浴室内壁と接しており、法令で定める2cmの離隔距離が確保されていなかった。○当該製品の内部は、21年間の長期使用によって、バーナー遮蔽板や熱交換器のスカート部等の金属部品が腐食し、大きく欠損していた。○浴室内壁と接していた当該製品の右側面の外装には、直径約6cmの熱変色箇所が認められ、燃焼中の当該箇所の温度は200℃に達していた。○温度ヒューズは溶断しておらず、空だき安全装置にも異常は認められなかった。 ●当該製品が浴室内壁と接触した状態で設置されていたこと、製品内部のバーナー遮蔽板や熱交換器のスカート部が腐食・欠損し、製品外装にバーナー炎の輻射熱が伝わりやすくなっていたために、製品外装を通して浴室壁面が伝導過熱され、壁面内部の木質部分が発火して火災に至ったものと推定される。	・使用期間：不明(製造時期から21年と推定)

JGKA 管理番号	事故発生日	公表日	製品名	事故発生 場所	被害状況 物的被害	人的被害	事故の内容	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
B1G13- 231	2013/08/19	2015/10/06	カセットこんろ	香川県	右記参照	〃	(火災)当該製品に装着したカセットボンベが爆発する火災が発生し、当該製品及び周辺を焼損した。	○使用者は純正品のガスボンベを装着した当該製品をガスこんろの上に放置したままガスこんろのグリルを使用し、その場を離れていた。○本体は変形していたが部品は全て残存し、焼損は認められなかった。○当該製品に装着されていたガスボンベの同等品を当該製品に装着してもガス漏れは認められなかった。○当該製品に装着されていたガスボンベは底部のみ確認でき、著しく変形していた。 ●当該製品にガスボンベを装着したままガスこんろの上に放置し、ガスこんろのグリルを使用してその場を離れたため、ガスボンベが熱せられて爆発したものと推定される。	
B1G13- 230	2013/10/04	2015/10/06	ガスこんろ(LPガス用)	愛媛県	右記参照	〃	(火災)当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。	○当該製品に変形などの異常は認められなかった。○二口ガス栓の片方にホースで当該製品がつながり、もう片方のガス栓には樹脂製の保護キャップが溶融して付着していた。○二口ガス栓は共に開いていた。○使用者はグリルで魚を焼いているときに、当該製品後方から炎を目撃した。○左右のこんろは使用していなかった。 ●当該製品は、二口ガス栓の両方が開いていたことで、保護キャップをかぶせてあったガス栓からガスが漏れ、使用中であったグリルの火が引火したものと推定される。	
B1G13- 229	2013/10/21	2015/10/06	ガスこんろ(都市ガス用)	福岡県	右記参照	〃	(火災)当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○出火当時、使用者は、調理油と凝固剤を入れたなべをガスこんろに掛けたままその場を離れ、その間に当該なべから出火した。○出火当時、調理油過熱防止装置のないこんろを使用していた。 ●当該製品の調理油過熱防止装置が付いていないこんろを使用中にその場を離れたため、調理油が過熱し火災に至ったものと推定される。なお、取扱説明書には、「火を付けたままの移動や外出等の禁止」旨、記載されている。	
B1G13- 228	2013/09/22	2015/10/06	ガス瞬間湯沸器(都市ガス用、)	福岡県	右記参照	〃	(火災)当該製品の周辺を焼損する火災が発生した。	○当該製品本体と台所用リモコンは、事故発生の11か月前に交換されていたが、当該製品と台所用リモコンをつなぐ配線は既存のものを使用していた。○当該製品本体や台所用リモコン内部に焼損等の異常は認められなかった。○リモコン配線が通っている雨戸戸袋と台所の壁との間にある既存のスイッチボックス付近の焼損が著しかった。●既存のスイッチボックス付近から出火した原因の特定には至らなかったが、当該製品本体と台所用リモコンに異常は認められず、当該製品の設置前から住宅の雨戸戸袋と台所の壁との間に設置されていたスイッチボックス付近の焼損が著しいことから、製品に起因しない事故であると推定される。	
B1G13- 227	2013/12/20	2015/10/06	ガス瞬間湯沸器(都市ガス用、半密閉式(FE式))	東京都	右記参照	〃	(火災)飲食店で当該製品を使用中、当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。	○当該製品の上部のHPフード部から火が出た。○給気フィルタ部に埃、塵が付着し全体が目詰まりしていた。○熱交換器フィン部には多量のススが付着しており、閉塞状態であった。○当該製品のHPダクト内部、排気拡散板、油脂受け皿等には熱による変色のみられた。○安全装置(過熱防止装置、残火安全装置)には導通があり、異常は認められなかった。○機器故障履歴には、燃焼異常、高温排気検出、給気フィルタ装着忘れ等が記録されていた。○使用者は、事故以前にエラー表示が出ていたが当該製品の使用を継続していた。 ●使用者が給気フィルタや油受け皿等の定期的な掃除を行わなかったために、異常燃焼が生じて熱交換器のフィンが閉塞し、当該製品からエラー表示が出ていたにもかかわらずそのまま使用を継続していたため、異常燃焼によりHPダクト内部に堆積した埃、塵等が燃えて火災に至ったものと推定される。	・使用期間:不明(製造時期から約10年と推定)
B1G13- 226	2013/12/21	2015/10/06	ガスこんろ(都市ガス用)	福岡県	右記参照	〃	(火災)当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○当該製品のグリルで食材を焼いていたところ、本体後方にあるグリル排気口付近から火が出た。○グリル庫内には、多量のススが付着し、グリル受け皿に残った食材は完全に炭化していた。○天板上には多量の炭化物が載っており、当該製品に接続していたガスコードは焼損していた。 ●当該製品のグリルで調理中に、調理中の食材やグリル庫内に溜まっていた油脂などに着火し、グリル排気口から炎が出て火災に至ったものと推定される。なお、取扱説明書には、「グリルを使用後は必ずお手入れする。」、「グリル水受け皿にたまった脂や調理物が燃えて火災の恐れがある。」旨、記載されている。	

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	公表日	製品名	事故発生 場所	被害状況		事故の内容	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
					物的被害	人的被害			
B1G13-225	2013/10/02	2013/11/26	ガス給湯付ふろがま (LPガス用、屋外式(RF 式))	埼玉県	右記参照	〃	(火災)ガスの供給が停止されていた時に、当該製品を使用しようとしたところ、当該製品を焼損する火災が発生した。	○当該住宅はガス会社によりガスの供給が止められていたが、使用者は当該製品からお湯が出るか試していた。○マイコンメーター出口側のガス点検口に何らかのガス接続具を取り付けたシールテープの跡が残っていた。○当該製品のガス電磁弁にガス気密性がなく、電磁弁内部のゴム弁が外れていた。○ガス電磁弁内のゴム弁が外れる圧力は0.2MPaで、当該機器に通常供給されるガス圧(2.3~3.3kPa)では外れなかった。 ●当該製品のガス電磁弁内のゴム弁が外れていることから、使用者が何らかの方法で圧力調整器を介さずにLPガス容器をガス配管に接続し、当該製品に高圧のガスを直接供給したため、点火操作により異常燃焼が生じたものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。	
B1G13-224	2013/10/06	2013/11/26	ガスこんろ(LPガス用)	鹿児島県	右記参照	〃	(火災)当該製品及び周辺が焼損する火災が発生した。	○当該製品は、調理油過熱防止装置が付いていないガスこんろであった。○使用者は、鍋に油を入れこんろの火をつけたまま外出した。○油を入れた鍋をのせた左こんろの操作つまみは中火の位置にあった。 ●油を入れた鍋をこんろにのせ、火をつけたままその場を離れたため、油が過熱され発火し火災に至ったと推定され、製品に起因しない事故と判断される。なお、取扱説明書には、「火をつけたままの移動、外出、就寝禁止、料理中のものが燃えたりして火災の原因になる。特に天ぷら、揚げものをしているときは注意する。」旨、記載されている。	
B1G13-223	2013/09/30	2013/11/19	ガスこんろ(都市ガス用)	埼玉県	右記参照	〃	(火災)当該製品を使用中、周辺を焼損する火災が発生した。	○当該製品の調理油過熱防止装置が付いていない右こんろで天ぷら調理していた。○使用者は調理後に火を消し忘れていた。○当該製品に焼損はなく、使用は可能であった。 ●当該製品に異常は認められないことから、調理油過熱防止装置が付いていない右こんろで天ぷら調理し、火を消し忘れたため、油が過熱して発火したものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。なお、取扱説明書には、「火をつけたまま機器から絶対離れない。」、「揚げ物調理する場合は必ず温度センサー付きバーナーを使用する。」旨、記載されている。	
B1G13-222	2013/08/24	2013/10/09	カセットこんろ	静岡県	右記参照	〃	(重傷2名)カセットボンベが破裂し、2名が火傷を負った。	○当該製品に携帯用ガスボンベを接続し、バーナー点火したところ、接続部分から炎が上がりガスボンベが破裂した。○当該製品はごとくが変形し、ボンベ接続部分の樹脂が熱溶解していたが、ガスボンベの接続は可能で、ガス漏れはなく、燃焼も可能であった。○破裂した専用ガスボンベのバルブパッキンは硬化・損傷していた。 ●当該製品に異常は認められないことから、携帯用ガスボンベ内のバルブパッキンの不具合により接続部からガスが漏えいし、バーナー点火時に引火して接続部分から炎が上がり、当該炎によりボンベが加熱され破裂に至ったものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。	A201300441(携帯用ガスボンベ)と同一事故
B1G13-221	2013/08/18	2013/09/26	カセットこんろ	福岡県	右記参照	〃	(火災、軽傷1名)当該製品に装着したカセットボンベが爆発する火災が発生し、当該製品及び周辺を焼損、1名が火傷を負った。	○ガスこんろのグリルを使用中、グリルの扉を開けた際にガスこんろから15cm程度離れて置かれていた当該製品に装置されたカセットボンベが爆発した。○事故発生時、当該製品は使用されていない。○カセットボンベは焼損しておらず、底が抜け、内圧の上昇により破裂した痕跡が認められた。 ●カセットボンベが過熱された原因の特定には至らなかったが、当該製品内のカセットボンベが外部からの熱で過熱され、ボンベ内の圧力が上昇して破裂したものと推定され、製品に起因しない事故と判断される。なお、本体表示には、「使用後は容器を必ず取り外す。」旨、記載されている。	
B1G13-220	2013/08/09	2013/09/10	ガスこんろ(LPガス用)	静岡県	右記参照	〃	(火災、軽傷1名)当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生し、1名が火傷を負った。	○事故前に当該製品のグリルで魚を焼き、その場を離れて火を消していなかった。○グリルは水入れ皿に水を入れるタイプであったが、水を入れたかなど使用状況は確認できなかった。 ●当該製品のグリルの火をつけたままその場を離れたため、出火に至ったものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。なお、取扱説明書には「火をつけたまま機器から離れない。」旨、記載されている。	

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故
 ※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
 ※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	公表日	製品名	事故発生 場所	被害状況		事故の内容	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
					物的被害	人的被害			
B1G13- 219	2013/07/13	2013/08/26	ガスこんろ(都市ガス用)	福岡県	右記参照	〃	(火災)当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○事故当時、当該製品の操作ボタンを押したところ、炎が上がった。○当該製品の下にゴム管が入り込んだ状態で設置されていたが、設置者は不明である。○グリルの下にあったゴム管の一部が焦げており、穴が開いていた。○当該製品のガス漏れ試験の結果、ガス漏れは認められなかった。 ●当該製品を設置した者は不明であるが、当該製品に接続されていたゴム管が当該製品の下に入り込んだ状態で使用されていたため、グリル底部の熱により、ゴム管が熱劣化して穴が開き、漏れたガスに操作ボタンを押した際の火花が引火し火災に至ったものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。	
B1G13- 218	2013/07/02	2013/08/08	ガスこんろ(都市ガス用)	富山県	右記参照	〃	(火災)当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○当該製品のグリル用操作ボタンは点火状態であった。○使用者は、魚を焼くためにグリルに点火した後、当該製品から離れていた。○グリル庫内は焼損が著しく、グリル皿に魚のものとみられる骨が認められた。○当該製品には、ガス漏れなどの異常は認められなかった。 ●当該製品のグリルを使用中に、火をつけたままその場を離れたため、グリル庫内の魚などに着火して、火災に至ったものと推定される。なお、取扱説明書には、「調理物(魚など)の種類によっては、グリル消し忘れタイマーが作動する前に発火することがありますので、機器から離れないようにし、焼きすぎに注意してください。」旨、記載されている。	
B1G13- 217	2013/05/28	2013/08/08	ガスこんろ(LPガス用)	岩手県	右記参照	〃	(火災、死亡1名)建物を全焼する火災が発生し、1名が死亡した。	○当該製品は内部より外部の焼損が著しかった。○右側こんろ背面の壁の焼損が著しかった。○右側こんろ上に置いていたフライパンの焼損が著しく、原形を留めていなかった。○過去に2歳の男児がこんろの点火ボタンを押すことが何度かあった。 ●当該製品の右側こんろ上に置いていたフライパンの油が過熱されて出火し、火災に至ったものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。	
B1G13- 216	2013/07/15	2013/08/08	ガスこんろ(都市ガス用)	大阪府	右記参照	〃	(火災)当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○使用者がグリルで調理したまま外出し、当該製品、ガス炊飯器に接続されたゴム管の一部、ガス炊飯器を含む雑品及び周辺の壁を焼損した。○汁受け皿の下側の遮熱板の中央部と右側に高温であった痕跡が認められた。○使用者はガス炊飯器のゴム管を当該製品の下を通して使用していた。○ガス炊飯器へ接続されたガス栓は、事故当時「開」の状態であった。 ●当該製品のグリルで調理中、使用者が外出したため、グリルの過熱で当該製品の下を通していたゴム管に亀裂が入って、漏れたガスにグリルのバーナーの火が引火したものと推定される。なお、取扱説明書には、「ガス接続について、機器の下を通さない」「火をつけたままの外出禁止」の旨、記載されている。	
B1G13- 215	2013/03/16	2013/07/29	ガスこんろ(LPガス用)	北海道	右記参照	〃	(火災)建物を全焼する火災が発生し、現場に当該製品があった。	○使用者は強火力バーナーを使用するつもりで点火操作を繰り返し行っていた。○器具栓つまみはグリルのみ「開」の位置となっていた。○天板中央部のグリル排気口周辺部が著しく焼損、腐食していた。 ●当該製品は、使用者が強火力バーナーを点火するつもりで誤ってグリルの器具栓つまみを数秒間押し回したため、グリル庫内にガスが滞留し、再点火操作時のスパークにより引火し、グリル排気口より炎が上がリ、火災に至ったものと推定される。	
B1G13- 214	2013/06/15	2013/07/12	ガスふろがま(都市ガス用、密閉式(BF式))	兵庫県	右記参照	〃	(火災)当該製品を使用中、当該製品から出火する火災が発生し、当該製品を焼損した。	○使用者が、当該製品を使用中、異臭がしたので点火確認窓より確認すると、内部で異常燃焼しているのを確認し、点火確認窓より水を注いで消火した。○ホースエンドソケットが腐食し、亀裂が生じてガス漏れを起こしていた。○当該製品内部の水位スイッチのハーネスと高圧コードが焼損していた。○ホースエンドソケットの亀裂部より塩素や硫黄が検出された。○当該事故以前にガラス製の点火確認窓が割れて穴が開き、その状態で使用され続けていた。○使用者は、事故当日の2～3日前よりガスの臭気を感じていた。 ●当該製品は、何らかの要因で点火確認窓のガラスが破損し、そのままの状態で使用され続けたため、湯水が本体内に浸入しホースエンドソケットが腐食し亀裂が生じてガスが漏れ、バーナーの火が引火し内部を焼損したものであり、使用者がガス臭いことを知りながら使用を続けたために発生した事故と推定される。なお、本体表示及び取扱説明書には、「ガス漏れに気付いたら使用の中止と販売店やガス事業者への連絡を行う」旨、記載されている。	・使用期間:29年

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故
 ※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
 ※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	公表日	製品名	事故発生 場所	被害状況		事故の内容	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
					物的被害	人的被害			
B1G13- 213	2013/06/08	2013/06/27	迅速継手(都市ガス用)	北海道	右記参照	〃	(火災、軽傷1名)当該製品を接続してガスこんろを使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○当該製品は、事故当時、迅速継手タイプのガス栓に不完全な状態で接続され、当該製品に接続されていたガスホースは、当該製品の根元からU字状に曲がった状態で設置されていた。○当該製品は、摺動環と本体カバーの樹脂の一部に焼損が認められたが、プラグへの接続は正常であり、気密試験では異常は認められなかった。○当該製品内部の作動環パッキンに、傷や異物等の付着は認められなかった。○当該製品は、使用者により取り付けられた。 ●当該製品にガス漏れ等の異常は認められなかったことから、ガス栓のプラグにつながった当該製品のガスホースがU字状に曲がった状態で設置されていたため、不完全な状態で取り付けられていた当該製品が完全にプラグから外れず、ガスが漏れ、ガスこんろの火が漏れたガスに引火し、出火したものと推定される。なお、当該製品の商品パッケージには、当該製品の取り付け方として「当該製品とプラグの接続は“カチッ”と音がするまで差し込んで下さい。」旨、記載されている。	
B1G13- 212	2013/06/04	2013/06/27	ガスふろがま(LPガス用、半密閉式(CF式))	福島県	右記参照	〃	(火災)当該製品で追い焚き中、確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。	○当該製品はほぼ野ざらし状態で保管されていた中古品であり、業者による点検後に設置され、初めての使用で事故が発生した。○ノズルとメインバーナーの接続部周辺にススが付着し、上に広がっていた。○3か所のノズルの周辺にホコリが付着し、メインバーナーのガス入口に埃が付着していた。○熱交換器には水漏れの形跡や、内部のススの付着や閉塞はなく、異常は認められなかった。 ●当該製品は、ほぼ野ざらし状態で保管されていた中古品で、業者による点検後に設置されたものであったことから、ノズルとメインバーナー間にたまったホコリにより、ノズルから噴出されたガスが正常にメインバーナーに流れずメインバーナーのガス入口部から脇にあふれ、引火し出火したものと推定される。	
B1G13- 211	2013/04/27	2013/05/30	ガスこんろ(都市ガス用)	埼玉県	右記参照	〃	(火災、重傷1名、軽傷3名)爆発を伴う火災が発生し、4名が負傷した。	○当該製品に目立った損傷はなく、ガス漏れも認められなかった。○当該製品の動作及び燃焼状態に異常は認められなかった。○当該製品のグリル部に使用の形跡はなく、こんろは若干の汚れが認められる程度だった。 ●当該製品に異常が認められないことから、当該製品以外の火元による事故と考えられ、製品に起因しない事故と推定される。	
B1G13- 210	2013/05/06	2013/05/30	ガスこんろ(LPガス用)	群馬県	右記参照	〃	(火災、軽傷1名)建物を全焼する火災が発生し、1名が火傷を負った。現場に当該製品があった。	○使用者は普段から電気炊飯器を当該製品に乗せていることがあった。 ○当該製品は樹脂部が全て焼失し、金属部も著しく焼けた状態であった。○当該製品に電気炊飯器の溶融物とコードリールの端子が付着していた。 ●当該製品に電気炊飯器が乗った状態で点火されたため、火災に至ったものと推定される。	
B1G13- 209	2013/02/25	2013/03/21	ガス瞬間湯沸器(都市ガス用、屋外式(RF式))	京都府	右記参照	〃	(火災)当該製品の周辺を焼損する火災が発生した。	○当該製品の排気口の斜め上方約12cmの位置に天井から吊り下げられたエアコン室外機が設置されており、室外機の樹脂製吹出口が焼損していた。○排気口にススが付着しており、熱交換器はフィンがスス状の黒い異物でほとんど閉塞されていた。○フロントカバー内面に、左右及び下側の給気口から吸い込まれたと推定されるスス状の黒い付着物が認められた。○事故前、使用者はお湯がぬるいと感じており、事故の翌日にガス事業者が当該製品を点検する予定になっていた。○当該製品とエアコン室外機は、使用者が新築の当該住宅を購入したとき、すでに設置されていた。 ●当該製品の排気口前方にエアコン室内機が設置されていたため、排気の排出が妨げられ、排気の一部が再給気されるショートサーキットを起こし、長期使用(約17年)により徐々に不完全燃焼が進行し、熱交換器のフィン部がススで閉塞され、点火不良や途中消火等により排気口から排出された未燃ガスに引火し、噴き出した炎が前方のエアコン室外機の吹出口に燃え移ったものと推定される。	
B1G13- 208	2013/02/16	2013/03/14	ガスこんろ(LPガス用)	山口県	右記参照	〃	(火災)建物を全焼する火災が発生し、現場に当該製品があった。	○操作つまみ軸の回転角度から左側こんろは「開」の位置であった。○使用者は厚紙を天ぶらガードとして使用していた。 ●当該製品を消火せずに使用者が外出したため、天ぶらガードとして使用していた厚紙に当該製品の火が引火し、火災に至ったものと推定される。なお、本体表示には、「使用中、その場を離れる時は必ず消火する。」「周囲に燃えやすいものを置かない。」旨、記載されている。	

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故
 ※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
 ※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	公表日	製品名	事故発生 場所	被害状況		事故の内容	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
					物的被害	人的被害			
B1G13- 207	2013/02/05	2013/02/22	ガスこんろ(LPガス用)	群馬県	右記参照	〃	(火災)当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○当該製品に接続されていたガスホースが溶融、焼損していた。○当該製品は使用者によってガス栓が天板上に掛かる位置に置かれていた。 ○当該製品は置き台に対して小さく余裕のある寸法であった。 ●当該製品は使用者によって天板にガス栓が掛かる位置で設置されたため、調理中に鍋の中の油に引火した火でガスホースが加熱されて溶融し、溶融箇所から漏れたガスに引火して火災に至ったと推定される。なお、取扱説明書には、「周囲の可燃物との離隔距離をとる、離隔距離がとれない場合は遮熱板を設置する」旨、記載されている。	
B1G13- 206	2013/06/00	2014/06/03	ガスこんろ(都市ガス用)	東京都	右記参照	〃	(火災)当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○当該製品の右こんろ操作ボタン周辺と右背面が焼損していたが、外郭は内側よりも外側の焼損が著しく、当該製品内部に出火の痕跡は認められなかった。○右こんろ操作ボタンは点火状態になっていたが、器具栓内部の電磁弁は「閉」の状態、器具栓及びガス導管にガス漏れは認められなかった。○当該製品のゴム管を接続しているガス元栓は「閉」になっていた。 ●当該製品に出火の痕跡は認められないことから、外部から延焼により焼損したものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。	
B1G13- 205	2013/07/18	2014/06/03	ガスこんろ(LPガス用)	三重県	右記参照	〃	(火災)当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○当該製品の右こんろを使用した後、右こんろ周辺から炎が上がった。 ○右こんろ器具栓は「開」の状態焼損しており、右こんろ周辺にはふきんやタオルなどの焼損物が残っていた。○右こんろ器具栓にガス漏れはなく、ゴム管等にも出火の痕跡は認められなかった。 ●当該製品に異常は認められないことから、使用者が火を消し忘れたため、こんろの炎が周囲の可燃物に着火し、火災に至ったものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。なお、取扱説明書には、「火をつけたまま機器から離れない。」、「機器の周囲に可燃物を置かない。」旨、記載されている。	
B1G13- 204	2013/06/30	2014/06/03	ガスこんろ(LPガス用)	静岡県	右記参照	〃	(火災)店舗で当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○ガス会社からマイコンメーター作動の電話連絡があり、店舗を確認すると当該製品周辺が焼損していた。○当該製品は左こんろ側の天板、左側面及び背面が著しく焼損し、左こんろ器具栓が溶融していた。○使用者は3時間前に当該製品を使用していたが、左こんろに点火したか覚えていなかった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明のため、事故原因の特定には至らなかったが、左こんろ側の焼損が著しいことから、火の消し忘れにより出火したものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。	
B1G13- 203	2013/06/29	2014/06/03	カセットボンベ	愛知県	右記参照	〃	(火災、軽傷2名)飲食店でカセットこんろを使用中、炎が上がったため消火しようとしていたところ、しばらくしてカセットこんろに接続した当該製品が破裂する火災が発生し、当該製品及び周辺を焼損、2名が負傷した。	○当該製品はバルブ側が胴部から外れ、分離していた。○バルブ側は内圧上昇により膨らんでいたが、カセットこんろ接続部と衝突して凹んだ状態にもなっていた。○缶胴部のバルブ側はカシメ部が伸びた状態になっていた。○同等品はJIS基準の1.3MPaで変形が生じ、1.5MPaで破裂する耐圧性を満たしていた。 ●当該製品に異常は認められないことから、カセットこんろ側から加熱され、内圧が異常上昇し破裂に至ったものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。	・A201300244(カセットこんろ)と同一事故(製品起因として公表準備中)
B1G13- 202	2013/06/26	2014/06/03	ガスこんろ(LPガス用)	三重県	右記参照	〃	(火災)当該製品を焼損する火災が発生した。	○出火前に当該製品の左こんろで揚げ物を調理していた。○当該製品の左こんろ器具栓は「開」になっていた。○当該製品は調理油過熱防止装置が付いていないこんろであった。 ●当該製品の左こんろで揚げ物を調理後、火を消し忘れたため、調理油が発火し火災に至ったものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。なお、取扱説明書には、「使用後は消火を確かめ、ガス栓を閉める。」旨、記載されている。	
B1G13- 201	2013/06/05	2014/06/03	ガスこんろ(都市ガス用)	愛知県	右記参照	〃	(火災)当該製品を使用中、当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。	○出火時はグリルと右こんろが点火状態になっていた。○当該製品はグリル庫内が焼損しており、水入れ皿に溜まった油が燃えていた。○当該製品にガス漏れなどの異常は認められなかった。○使用者は右こんろに点火してその場を離れており、グリルを点火した記憶はなかった。 ●当該製品に異常は認められないことから、誤ってグリルを点火し、その場を離れていたことから、グリルが空き状態になり、水入れ皿に溜まっていた油が発火したものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。なお、取扱説明書には、「火をつけたまま機器から絶対離れない。」、「水入れ皿が汚れたまま使用すると、こびりついた油汚れが発火する。」旨、記載されている。	

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故
 ※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
 ※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	公表日	製品名	事故発生 場所	被害状況		事故の内容	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
					物的被害	人的被害			
B1G13- 200	2013/05/08	2014/06/03	ガスこんろ(LPガス用)	静岡県	右記参照	〃	(火災)重傷1名)建物を全焼する火災が発生し、1名が負傷した。	○当該製品で揚げ物調理中であったが、使用者がその場にいたかは不明であった。○当該製品は左こんろ側が焼損し、内部よりも外側が著しく焼損していた。○左右こんろの温度センサーに異常は認められなかった。○鍋底に変形はなかったが、調理時の油量は不明であった。 ●当該製品の詳細な使用状況が不明であるため、事故原因の特定には至らなかったが、当該製品に出火に至る異常は認められないことから、製品に起因しない事故と推定される。	
B1G13- 199	2013/04/23	2014/06/03	ガスこんろ(LPガス用)	長野県	右記参照	〃	(火災)当該製品を使用後、外出したところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○当該製品のグリル操作ボタンが点火状態になり、グリル庫内が焼損していた。○グリル水入れ皿に付着した油分が焼損し、炭化していた。○当該製品下部に新聞紙が敷かれており、一部が焼損していた。 ●当該製品のグリルに火が付いていたため、グリル庫内に付着していた油分が過熱して着火し、下に敷いていた新聞紙等に引火して出火に至ったものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。なお、取扱説明書には、「消火操作したときは必ず炎を確認し、ガス栓を閉じる。」「グリル使用後は必ずお手入れする。」「機器の下に新聞紙などの可燃物を敷かない。」旨、記載されている。	
B1G13- 198	2013/03/17	2014/06/03	ガス瞬間湯沸器(LPガス用、開放式)	神奈川県	右記参照	〃	(火災)工場で当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。	○当該製品は前日から使用されておらず、火災に気付く30分前に異常はなかった。○当該製品は本体下部と操作ボタン周辺が焼損しており、前面カバーは内側よりも外側の焼損が著しかった。○当該製品にガス漏れはなく、内部に出火の痕跡は認められなかった。○本体下部の出湯管に掛けてあった布が燃えていた。 ●当該製品内部に出火の痕跡は認められないことから、外部からの延焼により焼損に至ったものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。	・使用期間：不明(製造時期から20年と推定)
B1G13- 197	2013/03/16	2014/06/03	ガス給湯付ふろがま(LPガス用、密閉式(BF式))	和歌山県	右記参照	〃	(火災)当該製品の点火操作中、爆発する火災が発生し、当該製品を破損した。	○使用者が浴槽に給湯しようとして器具栓つまみを止(0)からたね火(1)に廻して燃焼確認メーターを確認して給湯・シャワー(2)に廻そうとしたが、固くて廻すことができず、止(0)に戻してすぐに再点火した際に、爆発着火が発生し、当該製品の扉の下部が外れて開き、外装との間に隙間を生じた。○器具栓つまみに接続されたガスバルブが固着していた。なお、当該地区は2年前に大水害が発生し、事故発生場所の階下(2階)の床下まで水没した。○ガスバルブが水の浸入で腐食して固着し、内部に水の浸入・付着及び白錆が確認された。○ガス通路部と水通路部には、それぞれ漏れはなかった。○ガスバルブの固着した部品を正常品と交換後の確認では、異常は認められなかった。 ●当該製品の器具栓は水の浸入により固着しており、点火動作時に器具栓が固かったために、ガス点火動作がうまくいかず、ガス点火動作から戻す際、コックが戻りきらずに漏れたガスに2度目の点火動作により異常着火したと考えられるが、水の浸入の要因は当該製品内にはなく、外部からと推測され、製品に起因しない事故と推定される。	・使用期間：約8年7か月
B1G13- 196	2013/03/11	2014/06/03	ガス瞬間湯沸器(LPガス用、屋外式(RF式))	愛知県	右記参照	〃	(火災)店舗で当該製品を使用中、当該製品を汚損し周辺を焼損する火災が発生した。	○店舗外装は木製格子で覆われ、当該製品前方の木製格子が焼損していた。○当該製品の排気口から木製格子までの距離は15cmで、ガス機器の設置基準(30cm以上)を満たしていなかった。○排気口には排気方向を上向きにするカバーが取り付けられていたが、取付位置がずれて、排気口を半分ほど塞いでいた。○熱交換器にススが大量に詰まっており、不完全燃焼が生じていた。○木製格子の設置時期やそのときの当該製品の設置業者は特定できなかった。 ●当該製品の設置状況と排気口カバーの取り付けが適切でなかったため、不完全燃焼が生じ、排気口から出た高温の排気ガスや、排気口から出た未燃ガスへの引火で木製格子が焼損したのと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。	

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故
 ※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
 ※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	公表日	製品名	事故発生 場所	被害状況		事故の内容	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
					物的被害	人的被害			
B1G13- 195	2013/03/09	2014/06/03	ガス栓(都市ガス用)	三重県	右記参照	〃	(火災)ガスこんろを使用中その場を離れたところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○ガスこんろ(ビルドイン式)を使用中、その場を離れたところ、当該製品周辺が火災になっていた。○当該製品は一口ガス栓であり、ガスコードを介してガス炊飯器に接続されていたが、ガス炊飯器は使用していなかった。○当該製品のつまみは「開」の状態であったが、ガス漏れ等の異常は認められなかった。○ガスコードの迅速継ぎ手部分及びゴム管部分にガス漏れはなく、住宅ガス配管にガス漏れは認められなかった。 ●当該製品に異常は認められないことから、外部からの延焼によって焼損したものと推定される。	
B1G13- 194	2013/02/27	2014/06/03	ガス瞬間湯沸器(都市ガス用、半密閉式(FE式))	東京都	右記参照	〃	(火災)飲食店で当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。	○当該製品の外装には多量の油脂分が付着していた。○当該製品の給気フィルタ部は、油脂分が付着して目詰まりの状態であった。○熱交換器のフィン部に多量のススが付着しており、ほとんど閉塞状態であった。○当該製品には、事故以前に「高温排気検出」等の燃焼系のエラーがあったことが記録されていた。○当該製品の設置されていた厨房には、仕切り板などの当該製品への油脂流入を防ぐための措置がとられていなかった。○2006年に高温排気による故障で修理を実施した際、修理業者はダクトの流量不足である旨を使用者に説明していた。 ●当該製品に油脂が流入するのを防ぐ措置が取られていなかったことと、その状態で給気フィルターや油脂受け皿の点検をせずに、エラーが表示されても使用を継続したために、当該製品の熱交換器が閉塞して排気ガスが異常高温となり、ダクト内の油受け皿に溜まった油脂分やホコリ等が熱せられて発火し、事故に至ったものと推定される。なお、取扱説明書には、「排気フードと給気フィルターの日常点検として月1回程度、排気フード内部の油・ホコリ及び給気フィルターのゴミ・ホコリを掃除する」旨、記載されている。	・使用期間:10年4か月
B1G13- 193	2013/02/20	2014/06/03	ガスふろがま(LPガス用、半密閉式(CF式))	兵庫県	右記参照	〃	(火災)当該製品を点火後、異音が生じたため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。	○当該製品を点火後、異音が生じたため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。○当該製品は内外ともにススが付着し、内部の器具栓や温度ヒューズ等が焼損していたが、焼損した部品を交換して燃焼性能を確認したところ、異常は認められなかった。○当該製品は室内設置型製品であるが、屋根板のみで周囲に囲いのない状態の中庭に業者により設置され、当該製品の周辺や内部に焼損した枯葉や紙くずが認められた。○当該製品の近くに設置された灯油タンクより灯油が漏れて、当該製品の周辺に流れ込んでいたことが確認された。 ●当該製品は室内用であるが屋外に設置されたため、外部から製品内部に侵入した枯葉等がバーナーの炎で着火し、近くにあった枯葉(灯油を含む)等に延焼したものと推定される。なお、取扱説明書には設置に関して、「この機器は室内用ですので絶対に屋外に設置しない。」旨、記載されている。	・使用期間:約16年
B1G13- 192	2013/02/04	2014/06/03	カセットボンベ	長野県	右記参照	〃	(火災)カセットこんろに当該製品を接続して点火したところ、当該製品が爆発する火災が発生し、当該製品及び周辺を焼損した。	○使用者は、当該製品をカセットこんろに装着し、45分後にカセットこんろの点火つまみを回したところ点火せず、もう一度つまみを回したところ爆発したと証言している。○事故現場の部屋には、スイッチの切れたこたつが、ヒーターユニットを部屋側に向ける形で壁に立てかけられており、こたつの手前の床の上にカセットこんろが置かれていた。○事故現場の部屋は、ガラスが割れてカーテンが一部焼損していた。○当該製品は、上部缶と缶胴のつなぎ目から分離し、上部缶の縁部が変形していた。○当該製品の缶胴に焦げ痕は無く、直接火にあぶられた痕跡も確認できなかった。○当該製品を含むロットは、出荷前にガス漏洩や外観異常の全数検査を受けていた。 ●当該製品は、カセットこんろ以外の熱源によって過熱されて爆発したものと考えられ、熱源が特定できないために事故原因特定には至らなかったが、当該製品は出荷前にガス漏洩等の検査を受けていることから、製品に起因しない事故と推定される。	・A201200935(カセットこんろ)と同一事故

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故
 ※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
 ※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	公表日	製品名	事故発生 場所	被害状況		事故の内容	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
					物的被害	人的被害			
B1G13- 191	2013/02/04	2014/06/03	カセットこんろ	長野県	右記参照	〃	(火災)当該製品を点火したところ、当該製品に接続したカセットボンベが爆発する火災が発生し、当該製品の周辺を焼損した。	○使用者は、当該製品にカセットボンベを装着し、45分後に当該製品の点火つまみを回したところ点火せず、もう一度つまみを回したところ爆発したと証言している。○事故現場の部屋には、スイッチの切れたこたつが、ヒーターユニットを部屋側に向けて壁に立てかけられており、こたつの手前の床の上に当該製品が置かれていた。○事故現場の部屋は、ガラスが割れてカーテンが一部焼損していた。○当該製品に変形やススの付着等の異常は認められず、事故後に点火することができた。○事故以前の当該製品の動作に異常は認められなかった。 ●当該製品に異常が認められず、事故後も再点火可能であったことから、事故時にカセットボンベは装着されていなかったものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。	・A201200940(カセットボンベ)と同一事故
B1G13- 190	2013/01/14	2014/06/03	ガスふろがま(都市ガス用、半密閉式(CF式))	福島県	右記参照	〃	(火災)当該製品を使用中、リモコン操作ができないため屋外に出たところ、当該製品を焼損する火災が発生していた。	○設置場所のガス種はLPGであったが、設置業者により都市ガス用の当該製品が取り付けられていた。○当該製品の熱交換器に大量のススが付着し排気経路が詰まっていた。○バーナーにガス漏れは確認されず、正常なふろがまに組み付けて燃焼試験を行ったところ、異常は認められなかった。 ●当該製品は、供給ガスが不適合の状態で使用されたため不完全燃焼となり、大量のススが熱交換器に付着し排気不良となったため、使用中に本体前面の開口部から炎が溢れ、当該製品を焼損したものと推定される。	・使用期間:1年3か月
B1G13- 189	2013/02/17	2014/06/03	ガスこんろ(LPガス用)	愛知県	右記参照	〃	(火災、死亡1名)建物を全焼する火災が発生し、1名が死亡した。現場に当該製品があった。	○当該製品は前面が焼損し、操作スイッチ部が焼損していたが、天板、側面及び背面の塗装は残っていた。○器具栓に取り付けられている樹脂製の開閉機構は残っており、開閉機構の位置から全ての器具栓が「閉」の位置になっていることが確認できた。○当該製品内部に火の痕跡はなく、ガス通路にガス漏れは認められなかった。 ●当該製品に出火の痕跡は認められないことから、外部からの延焼により焼損したものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。	
B1G13- 188	2013/02/07	2014/06/03	ガス瞬間湯沸器(都市ガス用、半密閉式(CF式))	新潟県	右記参照	〃	(CO中毒、軽症3名)当該製品を使用中、一酸化炭素中毒により3名が軽症を負う事故が発生した。	○当該製品は集合住宅の脱衣所に設置され、排気筒が共用ダクトに接続されていた。○当該製品は風が強いときに使用すると、CO警報器が作動するため、警報器の電源プラグが外されていた。○当該製品上部の空気取入口から室内側に排ガスの逆流が認められた。○当該製品はホコリが付着していたが、排ガス中のCO濃度はJIS基準を満たしていた。 ●当該製品に異常は認められないことから、何らかの原因で排ガスが逆流し、室内のCO濃度が高くなったことから、CO中毒に至ったものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。	・使用期間:不明(製造時期から18年と推定)
B1G13- 187	2013/02/01	2014/06/03	ガスこんろ(都市ガス用)	愛知県	右記参照	〃	(火災)当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	○当該製品の右こんろとグリルを使用中、その場を離れたところ、当該製品周辺が火災になっていた。○グリル庫内には多量のススが付着し、水入れ皿には焼損した炭化物が付着していた。○グリル下面が焼損し、下面にはゴム管が接触していた痕跡が認められた。 ●当該製品のグリルに点火し、その場を離れていたため、グリル庫内が過熱して調理物や付着していた油分が着火し、当該製品の下の入り込んでいたゴム管が熱損して、ゴム管から漏れたガスに引火して火災に至ったものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。なお、取扱説明書には、「火をつけたままの移動禁止。」、「ゴム管は機器の上や下を通さない。」旨、記載されている。	A201200915(ゴム管)と同一事故
B1G13- 186	2013/01/21	2014/06/03	ガスふろがま(LPガス用、密閉式(BF式))	青森県	右記参照	〃	(火災)当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。	○当該製品が設置されていた浴室は、排水状態が悪かった。○バーナー燃焼中に前面パネル内側で炎が上がっていた。○内部には冠水跡があり、バーナー手前上方のガスパイプ固定金具、圧電点火装置、内部配線が著しく焼損していた。 ●当該製品は浴室の排水不良により内部が冠水したため、バーナー一部から正常に炎が出なくなりバーナーの手前側に炎が溢れ、機器内部が焼損したものと考えられ、製品に起因しない事故と推定される。なお、本体には、「浴室の排水口はこまめに掃除する。機器内に水が浸入すると火災や機器損傷の原因になる。」旨、記載されている。	・使用期間:不明(製造時期から17年と推定)

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故
 ※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
 ※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	公表日	製品名	事故発生 場所	被害状況		事故の内容	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
					物的被害	人的被害			
B1G13- 185	2013/01/02	2014/06/03	ガス衣類乾燥機(都市 ガス用)	大阪府	右記参照		(火災)当該製品のドラム内部を焼損する 火災が発生した。	○当該製品の電気部品および燃焼系部品に出火の痕跡は認められず、 ドラム庫内に残存していた多量の洗濯物が中の方から著しく焼損してい た。○ドラム内の洗濯物は夜に乾燥運転が終了した後、翌日14時までの 間放置されていた。○洗濯物から不飽和脂肪酸が検出された。 ●当該製品からの出火の痕跡は認められず、油分を含んだ洗濯物を乾 燥させたために、油の酸化熱により自然発火したものと推定される。な お、取扱説明書及び本体に、「食用油、動物系油、機械油、ドライクリー ニング油、美容オイル(ボディオイル、エステ系のオイルなど)、ベンジンや シンナー、ガソリン、樹脂(セルロース系)などの付着した衣類や、ポリ プロピレン繊維製の衣類は洗濯後でも絶対に乾燥しないでください。油の 酸化熱による自然発火や引火の恐れがあります。」旨、記載されている。	
B2G13- 184	2013/12/09 知	2014/01/15	ガス給湯付ふろがま(都 市ガス用, BF式)	東京都	機器ケーシング一 部変形	なし	定期保安点検で訪問した際、当該ふろが まのケーシングが一部変形していることを 確認した。原因は、点着火操作を繰り返 したことで機内に未燃ガスが滞留しその 後の点火操作で異常着火し、変形したものと 推測した。		
B2G13- 183	2013/12/05	2014/01/15	ガス給湯付ふろがま(L Pガス用, BF式)	東京都	機器ケーシング変 形	なし	お客さまが当該ふろがまの点火操作を繰 り返したところケーシングなどが変形し た。原因は、点着火操作を繰り返したた め、機内に未燃ガスが滞留し、その後の点 火操作で異常着火したものと推測した。		
B2G13- 182	2013/12/05	2014/01/15	ガス給湯付ふろがま(都 市ガス用)	東京都	当該機器のフロン トカバー一部変形	なし	大きな音がしたとの連絡を受けたガス事 業者が、訪問現場で当該機器のフロント カバーが変形しているのを確認した。尚建物 改修中で、当該機器は養生シートで覆わ れていた。		
B2G13- 181	2013/12/02	2014/01/15	ガス瞬間湯沸器(都市 ガス用)	神奈川県	当該機器のフロン トカバー一部変形	なし	大きな音がしたとの連絡を受けたガス事 業者が、訪問現場で当該機器のフロント カバーが変形しているのを確認した。		
B2G13- 180	2013/11/28	2014/01/15	ガスオープン(都市ガス 用)	大阪府	なし	軽度の火 傷	大学の実習中に立ち消え安全装置を搭載 していない、古いガスオープンのオープ ン庫内に未燃焼ガスが滞留した状態で点 火操作を行ったため、異常着火となり学生 1名が軽度の火傷を負った。		
B2G13- 179	2013/11/21 知	2014/01/15	ガス給湯付ふろがま(都 市ガス用, BF式)	神奈川県	機器ケーシング一 部変形	なし	ガスの開栓時に、当該ふろがまのケー シングが一部変形していることを確認した。 原因は、冠水の影響で点着火操作を繰 り返したため、機内に未燃ガスが滞留し、 その後の点火操作で異常着火したものと推 測した。		
B2G13- 178	2013/11/20 知	2014/01/15	ガス給湯暖房機(都市 ガス用, 給湯・暖房・ふ ろ兼用)	神奈川県	外装一部変形	なし	当該機器のリモコンにエラー表示が出て 何回か操作したところ、ボンと音がし外 装が変形した。建物は外壁塗装工事中で した。		
B2G13- 177	2013/11/20 知	2014/01/15	ガス給湯暖房機(都市 ガス用, 給湯・暖房・ふ ろ兼用)	神奈川県	外装一部変形	なし	外壁塗装工事中の建物(集合住宅)で養生 シートにより排気トップを閉塞されたと思 われる機器が異常着火を起こした為、ガ ス事業者が同建物の他室を調査したところ、 当該機器の外装変形を確認した。使用者 は機器の外装変形には気付いていなか った。		
B2G13- 176	2013/11/19	2014/01/15	ガス給湯暖房機(都市 ガス用, 給湯・暖房・ふ ろ兼用)	神奈川県	外装一部変形	なし	給湯使用中に大きな音がしたので確認 したところ当該機器のフロントカバーが 変形していた。建物は外壁塗装工事中 であった。		

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故
 ※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
 ※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	公表日	製品名	事故発生 場所	被害状況		事故の内容	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
					物的被害	人的被害			
B2G13-175	2013/11/19	2014/01/15	ガス瞬間湯沸器(都市ガス用)	東京都	換気扇フィルター一部焦げ	なし	ガス事業者様がお客様より、小型湯沸器を使用した際に火が出たとの連絡を受けた。		
B2G13-174	2013/11/16 知	2014/01/15	ガス瞬間湯沸器((都市ガス用、屋外設置式)	神奈川県	外装部品の変形	なし	ガス事業者様の定期保安巡回点検時に「PS内設置の給湯器フロントカバーの変形を発見」。何らかの要因により、給湯器が排気閉塞状態になり、点火動作時に異常着火となりフロントカバーの変形に至った。		
B2G13-173	2013/11/14	2014/01/15	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用)	千葉県	当該機器のフロントカバー一部変形	なし	ガス事業者がお客さまからの連絡により出動したところ、当該機器のフロントカバーが変形しているのを確認した。		
B2G13-172	2013/10/13	2014/01/15	ガス迅速継手(都市ガス用、ゴム管用ソケット)	東京都	機器一部焼損、拡大被害なし	なし	テーブルコンロで調理をした際、ガス栓付近に火が着いたとの事で、現場を確認したところ、ゴム管用ソケットの一部が焦げていた。現場で一部が焦げたゴム管用ソケットを再接続後、ガス漏れ検査をしたところガス漏れはなかった。ゴム管用ソケットが不完全な接続状態になり、微量のガスが漏洩していたと推測。【詳細確認中】		
B2G13-171	2013/11/10	2014/01/15	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用)	神奈川県	機器の外装変形	なし	修理依頼で訪問したお客様宅で、風呂釜の外装が変形しているのを発見した。		
B2G13-170	2013/11/08 知	2014/01/15	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用)	東京都	外装一部変形	なし	ガス事業者が定期保安点検時に外装の変形を発見した。		
B2G13-169	2013/11/07 知	2014/01/15	ガス瞬間湯沸器(LPガス用、先止式)	北海道	機器一部焼損	なし	ガス事業者様が給湯器取替え工事で当該機器を取外したところ、機器本体背面および壁面の一部が黒く変色していた。		
B2G13-168	2013/11/07 知	2014/01/15	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用、BF式)	東京都	機器ケーシング一部変形	なし	定期保安点検で、当該ふろがまのケーシングが一部変形していることを確認した。原因は、冠水の影響も含めて、点着火操作を繰り返したことで機内に未燃ガスが滞留しその後の点火操作で異常着火し、変形したものと推測した。		
B2G13-167	2013/11/下	2014/01/15	ガス瞬間湯沸器(LPガス用)	埼玉県	なし	指に2度程度の火傷	飲食店厨房にて給湯使用時に急に高温水が水栓より出て、手(指)に火傷を負った。		
B2G13-166	2013/10/31 知	2014/01/15	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用、RF式)	東京都	機器フロントカバー一部変形	なし	定期保安点検で、当該機器のフロントカバーが一部変形していることを確認した。原因は、現在調査中		
B2G13-165	2013/10/31 知	2014/01/15	ガスふろがま(都市ガス用、BF式)	東京都	機器ケーシング一部変形	なし	定期保安点検で、当該ふろがまのケーシングが一部変形していることを確認した。原因は、現在調査中		
B2G13-164	2013/10/28	2014/01/15	ガス瞬間湯沸器(都市ガス用)	東京都	当該機器のフロントカバー一部変形	なし	大きな音が出たとの連絡を受けたガス事業者が、訪問現場で当該機器のフロントカバーが変形しているのを確認した。		
B2G13-163	2013/10/25 知	2014/01/15	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用、BF式)	東京都	機器ケーシング一部変形	なし	定期保安点検で、当該ふろがまのケーシングが一部変形していることを確認した。原因は、現在調査中		
B2G13-162	2013/10/25 知	2014/01/15	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用)	神奈川県	外装一部変形	なし	使用者から修理依頼を受け、ガス事業者が訪問したところ、当該機器の外装変形を確認した。		

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	公表日	製品名	事故発生 場所	被害状況		事故の内容	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
					物的被害	人的被害			
B2G13- 161	2013/10/25	2014/01/15	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用)	大阪府	機器内部一部焼損	なし	お客様より「ガス給湯器が点火しない」との連絡があり、ガス事業者様が修理訪問し、機器の前板を開けると、電気系統が焼損していた。		
B2G13- 160	2013/10/24 知	2014/01/15	ガス給湯暖房機(都市ガス用、給湯・暖房・ふろ兼用)	東京都	機器フロントカバーの変形	なし	ガス事業者の定期保安点検時に機器フロントカバーの変形を発見した。お客様への問診によると、当該給湯器の変形については今回の定期保安点検時に指摘を受けて気が付いたとのこと。		
B2G13- 159	2013/10/21 知	2014/01/15	ガス給湯暖房機(都市ガス用、給湯・暖房・ふろ兼用)	東京都	機器フロントカバーの変形	なし	ガス事業者の定期保安点検時に機器フロントカバーの変形を発見した。お客様への問診によると、当該給湯器の変形については今回の定期保安点検時に指摘を受けて気が付いたとのこと。		
B2G13- 158	2013/10/20	2014/01/15	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用)	千葉県	機器前面カバーの変形	なし	機器を使用した際に異常音がした。確認すると機器前面カバーが変形しているのを発見した。		
B2G13- 157	2013/10/19	2014/01/15	ガスファンヒーター(LPガス用)	千葉県	全焼火災	1名軽傷	屋内にてガスファンヒーターを使用中、当該機器およびガスホース周辺より出火し、建物全焼火災が発生した。		
B2G13- 156	2013/10/17	2014/01/15	ガスこんろ(都市ガス用、卓上型)	大阪府	ガスこんろの焼損とこんろ近傍の汚濁	なし	留守宅でガスこんろが焼損する火災が発生。グリル水入れ皿に水を入れずにグリルを使用してグリルを消し忘れた事と、ガスこんろの底部に余分なガスゴム管を設置した使用者の取扱ミスが原因。【詳細調査中】		
B2G13- 155	2013/10/15 知	2014/01/15	ガスふろがま(都市ガス用)	東京都	機器一部破損	なし	修理訪問時に機器が変形していることを確認した。口火の点火が悪かったため点火操作を繰り返したことで、機器内にガスが放出、滞留し、点火のスパークで引火して異常着火し、側板が変形したものと推定。		
B2G13- 153	2013/10/30	2014/01/15	ガスふろがま(LPガス用)	千葉県	機器一部破損	なし	追い焚き使用中に異音がしてふろがまが変形した。追い焚き中に冠水し、バーナーの火が消えた状態で時間を置かず点火操作をしたため、機器内に滞留したガスに引火して異常着火し、変形したものと推定。		
B2G13- 152	2013/10/12	2014/01/15	ガス迅速継手(都市ガス用、ゴム管用ソケット)	東京都	機器一部焼損、拡大被害なし	なし	台所の清掃時にゴム管用ソケットを一時的に取り外し、再度取付け後、コンロを点火した際にゴム管用ソケット接続部付近に火がついた。ゴム管用ソケットが不完全な接続状態になり、微量のガスが漏洩していたと推測。【詳細確認中】		
B2G13- 151	2013/10/09 知	2014/01/15	ガス瞬間湯沸器(都市ガス用)	東京都	外装一部変形	なし	ガス事業者が定期保安点検で訪問した際に当該機器のフロントカバーの変形を確認した。使用者は今回の点検時の指摘まで変形については気付いていなかった。		
B2G13- 150	2013/10/09 知	2014/01/15	ガス瞬間湯沸器(都市ガス用)	東京都	外装一部変形	なし	ガス事業者の定期保安点検で訪問の際に、当該機器の外装変形を確認した。使用者は今回の点検で指摘を受けるまで外装変形には気付いていなかった。		

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故
 ※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
 ※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	公表日	製品名	事故発生 場所	被害状況		事故の内容	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
					物的被害	人的被害			
B2G13-149	2013/10/08 知	2014/01/15	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用)	東京都	当該機器のフロントカバー一部変形	なし	ガス事業者が、定期保安点検で訪問したお客様宅の当該機器のフロントカバーが変形しているのを確認した。		
B2G13-148	2013/10/08 知	2014/01/15	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用)	東京都	外装一部変形	なし	ガス事業者が定期保安点検に訪問した際に、当該機器の外装一部変形を確認した。使用者は今回の指摘を受けるまで機器の異変に気付いていなかった。		
B2G13-147	2013/10/08	2014/01/15	ガス給湯付ふろがま(LPガス用, BF式)	群馬県	機器ケーシング一部変形	なし	お客さまが当該ふろがまの点火操作を繰り返したところ異音が生じ、ケーシングが一部変形した。原因は、機器にガス漏れ及び着火動作に異常がないことから、点火操作時の不注意により未燃ガスが滞留、その後の点火操作で異常着火しケーシングが変形したものと推測した。		
B2G13-146	2013/10/08	2014/01/15	ガス給湯付ふろがま(LPガス用)	神奈川県	外装ケーシングの一部変形	なし	ガス供給事業者がLPガスの切り替え(他店の供給から自店の供給へ切り替え)を行った後、機器試運転確認の為、点火操作を行なった際に異常音が生じて、外装ケーシングが変形した。		
B2G13-145	2013/10/03 知	2014/01/15	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用, BF式)	東京都	機器ケーシング一部変形	なし	修理依頼で訪問した際、当該ふろがまのケーシングが一部変形していることを確認した。原因は、冠水した影響で、点火しにくくなった状態のとき、点着火操作を繰り返したことで機内に未燃ガスが滞留しその後の点火操作で異常着火し変形したものと推測した。		
B2G13-144	2013/10/03 知	2014/01/15	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用, BF式)	東京都	機器ケーシング一部変形	なし	修理依頼で訪問した際、当該ふろがまのケーシングが一部変形していることを確認した。原因は、点着火操作を繰り返したことで機内に未燃ガスが滞留しその後の点火操作で異常着火し、変形したものと推測した。		
B2G13-143	2013/10/02	2014/01/15	ガスふろがま(LPガス用)	神奈川県	機器一部破損	なし	お客さまからガス事業者に、ふろ釜から大きな音が生じたとの連絡があり、ガス事業者が確認したところケーシングが変形していた。口火が点火しなかったため、点火操作を繰り返し行ったことで、ガスが機器内に放出、滞留して、点火操作のスパークで引火して異常着火し、ケーシングが変形したものと推定。		
B2G13-142	2013/10/01 知	2014/01/15	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用)	神奈川県	機器の外装変形	なし	ガス使用のお申し出があったお客さま宅を訪問した際に、風呂釜の外装変形を発見した。		
B2G13-141	2013/10/01	2014/01/15	ガスこんろ(都市ガス用, 組込型)	東京都	なし	なし	お客様より「フライパンを使用して調理を行っていた際、フライパンが滑り落ちそうになったため、フライパンの縁を掴んで左手を火傷した」とのこと		
B2G13-140	2013/09/28	2014/01/15	ガスふろバーナー(LPガス用)	愛知県	なし	1度熱傷	家主の子女(13才)が初めての使用で操作方法を理解しておらず、誤った点火操作をして爆発着火させた。(器具は約40年ほど前のふろバーナー)		

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故
 ※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
 ※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	公表日	製品名	事故発生 場所	被害状況		事故の内容	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
					物的被害	人的被害			
B2G13-139	2013/09/27 知	2014/01/15	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用, BF式)	神奈川県	機器ケーシングの一部変形	なし	修理依頼で訪問した際、当該ふろがまのケーシングが一部変形していることを確認した。原因は、冠水した影響で、点火しにくくなった状態のとき、点着火操作を繰り返したことで機内に未燃ガスが滞留しその後の点火操作で異常着火し変形したものと推測した。		
B2G13-138	2013/09/27	2014/01/15	ガスこんろ(都市ガス用)	新潟県	一部焼損	なし	ガス通路部からのガス漏れ		
B2G13-137	2013/09/25	2014/01/15	ガスふろがま(都市ガス用)	神奈川県	器具焼損	なし	釜缶体内部への浸水と浴室内での18年程の使用からアルミダイカストの腐食が進行し、ガバナ部分の気密が損なわれて機器内焼損となった。		
B2G13-136	2013/09/24 知	2014/01/15	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用)	東京都	外装ケーシングの一部変形	なし	修理コールを受け訪問したところ機器の外装ケーシングの変形を発見した。		
B2G13-135	2013/09/22	2014/01/15	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用)	東京都	外装一部変形	なし	当該機器のシャワーの点火操作を行ったが点火しなかった為、繰り返し点火操作を行ったところ大きな音がした		
B2G13-134	2013/09/11	2014/01/15	ガス給湯付ふろがま(LPガス用)	埼玉県	機器前面パネルの一部変形	なし	使用者より点火操作を繰り返し行なった時に異常音がした為、点検の依頼を受けた。訪問したところ、機器に変形が有る事を確認した。		
B2G13-133	2013/09/05 知	2014/01/15	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用, BF式)	東京都	機器ケーシングの一部変形。内部配線の焦げ	なし	新規ガス使用開栓時、当該ふろがまのケーシングが一部変形、内部配線の焦げを確認した。原因は、冠水の影響によるものと推測した。		
B2G13-132	2013/09/03	2014/01/15	ガス栓(都市ガス用)	愛知県	ソフトコード、迅速継手、ガステーブル焼損	なし	二口コンロこやかんをかけたところ何らかの原因で漏えいしたガスに着火した。ガスが漏えいした原因については不明。		
B2G13-131	2013/08/28 知	2014/01/15	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用)	東京都	外装ケーシングの一部変形	なし	修理訪問したお客様宅の風呂釜が変形しているのを発見した。		
B2G13-130	2013/08/26	2014/01/15	ガス給湯付ふろがま(LPガス用)	神奈川県	機器の外装変形	なし	家人がふろがまを点火させようと操作したところ、大きな音と共に当該機器の外装が変形した。		
B2G13-129	2013/08/24 知	2014/01/15	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用, BF式)	東京都	機器ケーシングの一部変形	なし	定期保安点検で、当該ふろがまのケーシングが一部変形していることを確認した。原因は、機器が冠水した影響で、ふろ点火しにくくなった状態の時、ふろ点火操作を繰り返したため、機内に滞留した未燃ガスが異常着火を起こしたと推測した。		
B2G13-128	2013/08/23 知	2014/01/15	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用, BF式)	東京都	機器ケーシングの一部変形	なし	定期保安点検で、当該ふろがまのケーシングが一部変形していることを確認した。原因は、点着火操作を繰り返したことで機内に未燃ガスが滞留し、その後の点火操作で異常着火したものと推測した。		
B2G13-127	2013/08/22 知	2014/01/15	ガス瞬間湯沸器(都市ガス用, RF式)	神奈川県	機器フロントカバーの一部変形	なし	機器の修理依頼で訪問したところ当該機器のフロントカバーの一部が変形していることを確認した。原因は、排気口が何らかのもので閉塞されたことにより、機器が点火不良を起こし、機内に未燃ガスが滞留し、再点火時に異常着火を起こしたものと推測した。		

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	公表日	製品名	事故発生 場所	被害状況		事故の内容	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
					物的被害	人的被害			
B2G13-126	2013/08/21 知	2014/01/15	ガス瞬間湯沸器(都市ガス用、開放燃焼式(先止めタイプ))	東京都	機器の被害なし、 拡大被害あり	なし	ガス事業者の協力販売店がお客さま宅にて湯沸器の上方に設置された換気扇のフィルターが一部こけているのを発見。湯沸器で異常着火が発生し、湯沸器の排気口から一瞬炎が出たと推測します。この炎の熱で、湯沸器の上部にあった換気扇のフィルターの一部が焦げたと推測。(詳細調査中)		
B2G13-125	2013/08/20	2014/01/15	ガス給湯付ふろがま(LPガス用)	埼玉県	外装の変形	なし	着火しないので、点火操作を時間を空けずに繰り返したところ異常着火した。		
B2G13-124	2013/08/16 知	2014/01/15	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用)	東京都	外装一部変形	なし	ガス事業者による定期保安点検の為訪問した際、当該機器のフロントカバーが変形している事を確認した。		
B2G13-123	2013/08/10	2014/01/15	ガスこんろ(都市ガス用)	東京都	器具全焼	なし	アジを中火でグリルにて焼いていて放置していたら火が周囲に広がり、ガスこんろ後ろのキャビネットが焦げ、換気扇も焦げた。お客様が消火し、後日消防署が現場検証を行った。		
B2G13-122	2013/08/07	2014/01/15	ガス給湯付ふろがま(LPガス用)	千葉県	外装ケーシングの一部変形	なし	シャワー使の為、器具栓ツマミを操作したがお湯にならなかった。口火が着いていない事に気づき、再度、口火の点火操作を行なったがつきが悪く繰り返し操作を行なったところ、異常音が出た。		
B2G13-121	2013/07/06	2014/01/15	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用)	神奈川県	機器一部焼損	なし	追焚き操作をしたときに焦げ臭く、点火ツマミが熱くなり、フロントカバーが変色した。修理時の作業ミスにより機器内に洩れたガスに口火の炎が引火したものの。		
B2G13-120	2013/08/05 知	2014/01/15	ガス瞬間湯沸器(都市ガス用、RF式)	茨城県	機器フロントカバー変形	なし	お客さまより修理依頼の連絡を受け、訪問したところ当該機器のフロントカバーが変形していることを確認した。原因は、機器内の部品から漏れた水でガス通路部が腐食し亀裂が生じ、微少なガスが機内に滞留し異常着火を起こしたと推測した。		
B2G13-119	2013/08/04 知	2014/01/15	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用、屋外設置式)	京都府	外装部品の変形	なし	ガス事業者殿の定期保安巡回点検時に「PS内設置の給湯器フロントカバーの変形を発見」・事故原因は近所の引越し作業で、排気口前部に立てかけられたベトナム用マットにより、給湯器が排気閉塞状態になり、点火動作時に異常着火となりフロントカバーの変形に至った。		
B2G13-118	2013/08/02 知	2014/01/15	ガスこんろ(都市ガス用、クッキングテーブル)	大阪府	機器の一部焼損	なし	約40年前に製造したクッキングテーブルです。食卓に組み込まれたガスこんろの、ガス接続部より微量のガスが漏洩し、使用中のこんろバーナーの炎が引火し、テーブル裏のコンロ部外装に焦げ跡がついた。・詳細調査中		1972年に製造した製品です。
B2G13-117	2013/07/30	2014/01/15	ガス給湯付ふろがま(LPガス用)	長野県	外装一部変形	なし	入浴中に点火操作を行ったところボンという音とともに外装が変形した。		
B2G13-116	2013/07/26 知	2014/01/15	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用)	東京都	外装一部変形	なし	ガス事業者の定期保安点検で訪問の際、外装の一部変形を確認した。		

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故
 ※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
 ※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	公表日	製品名	事故発生 場所	被害状況		事故の内容	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
					物的被害	人的被害			
B2G13-115	2013/07/26 知	2014/01/15	ガスふろバーナー(都市ガス用)	大阪府	器具焼損	なし	7月26日に家人が風呂を沸かそうとした際、使用出来ない事に気づき、27日に焼損跡を確認した。		
B2G13-114	2013/07/22	2014/01/15	ガス瞬間湯沸器(都市ガス用)	東京都	なし	なし	お客様より、湯沸器を使用した際に上から火が出たとの連絡を受け、訪問したところ、開放型小型湯沸器と同室に設置している換気扇の市販フィルターが焦げていることを確認した。		
B2G13-113	2013/07/20 知	2014/01/15	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用)	埼玉県	外装一部変形	なし	ガス事業者が定期保安点検の為訪問した際、外装の一部変形を確認した。		
B2G13-112	2013/07/19	2014/01/15	ガス給湯付ふろがま(LPガス用)	神奈川県	外装一部変形	なし	当該機器の種火の点火操作を行ったが点火しなかった為、器具栓ツマミを1分間程、点火位置に保持した後、再度点火操作を行ったところ、異常着火した。		
B2G13-111	2013/07/18 知	2014/01/15	ガスこんろ(都市ガス用、クッキングテーブル)	京都府	機器の一部焼損	なし	約30年前に製造したクッキングテーブルです。食卓に組み込まれたガスこんろの、ガス接続部パッキンの劣化により、微量のガスが漏洩し、使用中のこんろバーナーの炎が引火し、テーブル裏のに焦げ跡がついた。		約34年前に製造された製品
B2G13-110	2013/07/12	2014/01/15	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用)	神奈川県	機器一部焼損	なし	浴槽にお湯を入れるためふろ釜に点火して、給湯したところ、前板から炎が上がり、前板と点火確認窓が焦げた。溶剤の影響で給湯ガスガバナのダイヤフラムが劣化して亀裂が入り、そこから洩れたガスに引火したものと推定。溶剤の由来については不明だった。		
B2G13-109	2013/07/08 知	2014/01/15	ガス給湯付ふろがま(LPガス用)	埼玉県	外装ケーシングの一部変形	なし	使用者から買換え見積もり依頼があり訪問すると、機器本体が変形していた。		
B2G13-108	2013/07/07	2014/01/15	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用)	横浜市	同左	なし	フロントカバーの変形		
B2G13-107	2013/07/05 知	2014/01/15	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用、BF式)	東京都	機器ケーシング一部変形	なし	定期保安点検で、当該ふろがまのケーシングが一部変形していることを確認した。原因は、点着火操作を繰り返したことで機内に未燃ガスが滞留しその後の点火操作で異常着火したものと推測した。		
B2G13-106	2013/07/05 知	2014/01/15	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用)	神奈川県	外装ケーシングの一部変形	なし	ガス使用のお申し出があったお客さま宅のBF式風呂釜のケースが変形しているのを発見した。		
B2G13-105	2013/07/01 知	2014/01/15	ガス瞬間湯沸器(都市ガス用)	東京都	機器一部破損	なし	修理にお伺いしたところ、機器フロントカバーが変形していることが分かった。調査の結果、機器に異常はなく、給排気トップに養生シートを被せた状態で使用したため、異常着火でフロントカバーが変形したことが想定される。		
B2G13-104	2013/06/27	2014/01/15	ガス瞬間湯沸器(都市ガス用)	東京都	なし	なし	お客さまより「台所の湯沸器を使用した際に大きな音がして換気扇のフィルターが焦げた」との連絡を受け、ガス事業者様が訪問したところ、小型湯沸器上部のフード内にある換気扇のフィルターが焦げていることを確認した。		

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故
 ※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
 ※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	公表日	製品名	事故発生 場所	被害状況		事故の内容	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
					物的被害	人的被害			
B2G13-103	2013/06/27	2014/01/15	ガス瞬間湯沸器(都市ガス用)	大阪府	なし	あり(火傷)	・シャワー使用中にお湯の温度が急に高くなり、軽度の火傷を負った。		製造から25年以上経過した機器
B2G13-102	2013/06/18	2014/01/15	ガス給湯暖房機(都市ガス用, RF式)	神奈川県	機器フロントカバー、ケーシング変形	なし	当該機器のフロントカバー、ケーシングが変形していることを確認した。原因は当該機器が養生シートで覆われた影響で点火不良となり、機器内に滞留した未燃ガスが再点火動作時に異常着火を起こし、機器フロントカバー、ケーシングが変形したものと推測した。		
B2G13-101	2013/06/12	2014/01/15	ガスふろがま(LPガス用, BF式)	福岡県	機内配線類等の部品の一部を焦がす。	なし	点火操作を繰り返した時、異常音が生じ機内配線類や機器フロントカバーのゴムパッキンの一部が焦げた。原因は、ノズルとバーナーの間に異物が入り込み、ノズルからの正常なガスの噴出が妨げられ、一部のガスがノズル周辺にあふれ、異常燃焼したものと推測。		
B2G13-100	2013/06/11 知	2014/01/15	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用)	神奈川県	外装ケーシングの一部変形	なし	ガス事業者協力企業が、定期保安点検に訪問したお客様宅でBF式風呂釜の外装ケーシングが変形しているのを発見した。		
B2G13-099	2013/06/10 知	2014/01/15	ガス瞬間湯沸器(都市ガス用)	東京都	フロントカバーの変形	なし	ガス設備の定期保安点検時にフロントカバー変形を発見した。		
B2G13-098	2013/06/06 知	2014/01/15	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用)	千葉県	機器フロントカバーの変形	なし	機器買換え見積もりに訪問したお客様宅で風呂釜のフロントカバーの変形を発見した。お客様に問診すると、一週間程前に自動お湯はりボタンを押したところ、大きな着火音がしたが、フロントカバーの変形については、今回指摘されるまで気が付かなかったと伺いました。		
B2G13-097	2013/06/03	2014/01/15	ガスこんろ(都市ガス用, 組込型)	神奈川県	製品一部焼損	なし	お客様が調理のため左手前こんろを点火したら機器内部より煙が出たので修理依頼され、ガス事業者様が現場確認をされたところ、機器内部の配線が一部焼損していた。		
B2G13-096	2013/06/02	2014/01/15	ガス給湯暖房機(都市ガス給湯・暖房・ふろ兼用)	大阪府	前蓋の変形	なし	養生シートで排気閉塞していた。機器を使用して異常着火した。		
B2G13-095	2013/05/31 知	2014/01/15	ガス瞬間湯沸器(都市ガス用)	東京都	外装変形	なし	フロントカバーの変形、外壁塗装工事中で給湯器の排気口を養生シートで閉塞していた。		
B2G13-094	2013/05/31 知	2014/01/15	ガス瞬間湯沸器(都市ガス用)	東京都	外装変形	なし	フロントカバーの変形、外壁塗装工事中で給湯器の排気口を養生シートで閉塞していた。		
B2G13-093	2013/05/31 知	2014/01/15	ガス瞬間湯沸器(都市ガス用)	東京都	外装変形	なし	フロントカバーの変形外壁塗装工事中で給湯器の排気口を養生シートで閉塞していた。		
B2G13-092	2013/05/30 知	2014/01/15	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用, BF式)	東京都	機器ケーシング一部変形	なし	定期保安点検で、当該ふろがまのケーシングが一部変形していることを確認した。原因は、点着火操作を繰り返したことで機内に未燃ガスが滞留しその後の点火操作で異常着火したものと推測した。		
B2G13-091	2013/05/29 知	2014/01/15	ガス瞬間湯沸器(都市ガス用)	東京都	外装一部変形	なし	ガス事業者がガス開栓業務のため訪問した際、外装の一部変形を確認した。		

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	公表日	製品名	事故発生 場所	被害状況		事故の内容	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
					物的被害	人的被害			
B2G13-090	2013/05/29	2014/01/15	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用, RF式)	千葉県	機器フロントカバー変形	なし	当該機器のフロントカバーが変形していることを確認した。原因は当該機器の給排気口が養生ビニールシートで覆われた影響で点火不良となり、機器内に滞留した未燃ガスが再点火動作時に異常着火を起こし、機器フロントカバーの一部が変形したものと推測した。		
B2G13-089	2013/05/28 知	2014/01/15	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用)	茨城県	機器フロントカバーの変形とPSの一部破損。	なし	お客さまより、風呂釜が変形しているとの連絡を受け、訪問すると、RF式風呂釜のフロントカバーが変形しており、パイプシャフトの一部が破損していることを確認した。		
B2G13-088	2013/05/27	2014/01/15	ガス給湯付ふろがま(LPガス用)	高知県	機器前面カバー下部が浮き上がりケースとの間に隙間が出来た。	なし	使用者から機器を使用したところ異常音が出たとの連絡を受け、ガス事業者が訪問しBF式風呂釜のフロントカバーの下部が浮き上がり、ケースとの間に隙間ができているのを確認した。		
B2G13-087	2013/05/23	2014/01/15	ガス給湯付ふろがま(LPガス用)	東京都	外装ケーシングの一部変形	なし	使用者からの連絡を受け、ガス事業者が訪問しBF式風呂釜のケースが変形しているのを確認した。		
B2G13-086	2013/05/22 知	2014/01/15	ガスふろがま(都市ガス用, BF式)	東京都	機器ケーシング一部変形	なし	定期保安点検で、当該ふろがまのケーシングが一部変形していることを確認した。原因は、冠水の影響で、点着火操作を繰り返したことで機内に未燃ガスが滞留しその後の点火操作で異常着火したものと推測した。		
B2G13-085	2013/05/20 知	2014/01/15	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用)	東京都	機器フロントカバーの変形	なし	定期保安点検に訪問したお客様宅の隣家のRF式風呂釜のフロントカバーが変形していた。機器に取り付けられていた上方排気カバーは器具から外れて隣家の敷地内に落ちていた。		
B2G13-084	2013/05/13	2014/01/15	ガスファンヒーター(都市ガス用)	静岡県	なし	なし	お客様より「部屋で壁に向かってパソコンをしていたら、点火音がして、振り向いたら点火していた。」「猫を飼っているので、スイッチを押さないように、日頃からプラスチックの蓋を載せてあった。」との点検依頼が入る。		
B2G13-083	2013/05/11 知	2014/01/15	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用)	東京都	外装一部変形	なし	ガス事業者が、定期保安点検の為訪問した際、外装の一部変形を確認した。		
B2G13-082	2013/05/10	2014/01/15	ガスふろがま(都市ガス用)	東京都	機器の変形	なし	ふろ釜を使用したら大きな音が出たとのお申し出があり、確認したところBFふろがまの前板の下部が外れ、側板が膨らんでいた。調査の結果、機器に異常はなく、点火操作時にツマミを長時間押したことで、機器内に滞留したガスに引火し、異常着火した結果、前板や側板が変形したものと推定。		
B2G13-081	2013/05/09	2014/01/15	ガスこんろ(都市ガス用, 組込型)	東京都	なし	なし	こんろ使用時、つきにくいので繰返し点火操作したら、こんろが点火して換気扇のフィルターも一部焦げた。		
B2G13-080	2013/05/06	2014/01/15	ガス瞬間湯沸器(都市ガス用)	東京都	網戸一部焦げ	なし	ガス事業者協力企業様より、機器交換のお申し出を受けたお客さま宅を訪問したところ、当該機器右上方の網戸が一部焦げていることを確認。		

JGKA 管理番号	事故発生日	公表日	製品名	事故発生 場所	被害状況		事故の内容	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
					物的被害	人的被害			
B2G13-079	2013/05/02 知	2014/01/15	ガス瞬間湯沸器(都市ガス用)	東京都	外装一部変形	なし	ガス事業者が定期保安点検の為訪問した際、外装の一部変形を確認した。		
B2G13-078	2013/05頃	2014/01/15	ガスこんろ(都市ガス用、クッキングテーブル)	大阪府	機器の一部焼損	なし	約40年前に製造したクッキングテーブルです。食卓に組み込まれたガスこんろの、ガス接続部より微量のガスが漏洩し、使用中のこんろバーナーの炎が引火し、テーブル裏のコンロ部外装に焦げ跡がついた。事故品にはガス漏れはなく、ガス漏れ原因の特定には至りませんでした。		約40年前に製造された製品
B2G13-077	2013/04/29	2014/01/15	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用)	東京都	機器フロントカバーの変形	なし	お客様よりお湯を使用した時に大きな音が出て機器が変形したと連絡を受け、ガス事業者の緊急部所が訪問し機器のフロントカバー変形を確認した。		
B2G13-076	2012/04/25 知	2014/01/15	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用)	東京都	ケーシングの一部変形	なし	ガス事業者の定期保安点検時に、ケーシングに変形のあることが分かった。機器を調査した結果、機器に異常はなく、点火操作時につまみを長く押しすぎたことで機器内に滞留したガスに点火のスパークが引火し、異常着火したことによるものと推定。		
B2G13-075	2013/04/23 知	2013/12/20	ガスふろがま(都市ガス用、BF式)	東京都	機器ケーシング一部変形	なし	ガス使用の申し出があったお客様宅のふろがまのケーシングが一部変形していることを確認した。原因調査中。		
B2G13-074	2013/04/22 知	2013/12/20	ガス瞬間湯沸器(都市ガス用、屋外式)	神奈川県	給湯器外装の一部変形	なし	ガス設備の定期保安点検で訪問したお客様さま宅で給湯器の前面カバーが変形しているのを確認した。		
B2G13-073	2013/04/21	2013/12/20	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用、BF式)	東京都	外装一部変形	なし	ガス事業者が、当該機器の修理依頼を受け訪問した際、外装の一部変形を確認した。		
B2G13-072	2013/04/20	2013/12/20	ガス迅速継手(都市ガス用、ゴム管用ソケット)	愛知県	機器一部焼損、拡大被害なし	なし	使用者がガスコンロのグリルで魚を焼いていたところガス栓に接続している、迅速継手付近で火が出たとのこと。迅速継手よりのガス漏れがないことより、ガスコンロの設置状況を含め、原因調査中。		
B2G13-071	2013/04/19	2013/12/20	ガス炊飯器(都市ガス用)	兵庫県	器具一部焼損	なし	炊飯器を点火した際、接続部の器具用プラグ付近から火が出た為ガス栓を閉栓し消火した。		
B2G13-070	2013/04/18 知	2013/12/20	ガス瞬間湯沸器(都市ガス用、屋外式)	東京都	フロントカバー一部変形	なし	ガス事業者が定期保安点検の際、当該機器のフロントカバー変形を確認した。		
B2G13-069	2013/04/17	2013/12/20	ガスふろがま(LPガス用、BF式)	東京都	機器一部変形	なし	点火操作をしたところ異常燃焼し、機器が変形した。調査の結果、機器に異常はなく、点火操作を繰り返したことで機器内に滞留したガスに、点火のスパークが引火して異常着火した結果、側板が変形したものと推定。		
B2G13-068	2013/04/16 知	2013/12/20	ガスふろがま(LPガス、BF式)	神奈川県	外装ケーシングの一部変形	なし	点火操作を繰り返したところ異常着火した。		
B2G13-067	2013/04/13 知	2013/12/20	ガスふろがま(都市ガス用、BF式)	東京都	機器ケーシング一部変形	なし	定期保安点検で、当該ふろがまのケーシングが一部変形していることを確認した。原因は、点着火操作を繰り返したことで機内に未燃ガスが滞留しその後の点火操作で異常着火したものと推測した。		

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故
 ※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
 ※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	公表日	製品名	事故発生 場所	被害状況		事故の内容	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
					物的被害	人的被害			
B2G13-066	2013/04/12 知	2013/12/20	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用, 屋外式)	東京都	当該機器のフロントカバー一部変形	なし	ガス事業者が、定期保安点検で訪問したお客様宅の当該機器のフロントカバーが変形しているのを確認した。		
B2G13-065	2013/04/11 知	2013/12/20	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用, BF式)	東京都	外装ケーシングの一部変形	なし	ガス設備の定期保安点検で訪問時にBF式風呂釜の外装ケースが変形しているのを発見した。		
B2G13-064	2013/04/10 知	2013/12/20	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用, 屋外式)	東京都	器具のケーシングが一部変形	なし	ガス事業者が定期保安点検に伺ったお客様宅にて、器具のケーシングが一部変形していることを確認した。		
B2G13-063	2013/04/05	2013/12/20	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用, 屋外式)	千葉県	フロントカバーの変形	無し	ガス保安点検時に外装の変形を発見した。		
B2G13-062	2013/04/02 知	2013/12/20	ガスふろがま(都市ガス用, BF式)	東京都	機器ケーシング一部変形	なし	当該機器のケーシングが一部変形していることを確認した。原因は、点着火操作を繰り返したことで機内に未燃ガスが滞留しその後の点火操作で異常着火したものと推測した。		
B2G13-061	2013/03/04	2013/12/20	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用, BF式)	東京都	なし	腕に2度の火傷	ふろ追いだき中に熱くなった出湯管に触れて火傷した。		
B2G13-060	2013/03/30	2013/12/20	ガスこんろ(LPガス用, 卓上型)	京都府	器具毀損	無し	ガスこんろのグリル庫内で発火し、使用者自身が消火した。消防は、使用者が購入以来一度もグリルの掃除をせず、事故発生時にはグリルの消し忘れがあったことから、使用者の不注意が原因として調査を終了した。		
B2G13-059	2013/01/08	2013/12/20	ガス給湯暖房機(都市ガス用, 給湯・暖房・ふろ兼用, FF式)	大阪市	外装ケース変形、機器設置室の石膏ボードの壁の一部破損	なし	給湯を使用した際に異音がして、機器本体の外装ケースが変形した。機器設置室の石膏ボードの壁が一部破損(ヒビ割れ)した。		
B2G13-058	2013/03/26	2013/12/20	ガスふろバーナー(都市ガス用, CF式)	大阪府	器具焼損	なし	3月26日に家人が風呂を沸かしていた際、隣人が出火に気付き、連絡を受けた家人が消火した。		
B2G13-057	2013/03/25	2013/12/20	ガス瞬間湯沸器(都市ガス用, 開放式)	埼玉県	なし	なし	ガス事業者様が訪問したところ、台所の換気扇に取付けられていた市販の換気扇フィルターの一部が溶解していることを確認した。		
B2G13-056	2013/03/23	2013/12/20	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用, BF式)	千葉県	外装ケーシングの一部変形と内部電装類の一部焦げ。	なし	浴槽の排水栓を外して残り湯(水位は40cm程)が残り少なくなってから、ふろ釜の点火操作を行なった。シャワーを使って浴槽の掃除を行なっている最中に点火確認窓がオレンジ色に見えた。暫くしてふろ釜から大きな音がしたので、使用をやめた。		
B2G13-055	2013/03/22 知	2013/12/20	ガス瞬間湯沸器(都市ガス用, 屋外式)	東京都	給湯器外装の一部変形	なし	ガス設備の定期保安点検で訪問したお客様宅の給湯器の前面カバーが変形しているのを確認した。		
B2G13-054	2013/03/21	2013/12/20	ガスふろがま(LPガス用, 屋外式)	広島県	機器内部に煤	なし	お客様より修理依頼があり、ガス事業者様が訪問したところ、機器内部が一部焼損		
B2G13-053	2013/03/20	2013/12/20	ガスバーナー付きふろがま(都市ガス用, 屋外式)	大分市	器具焼損	なし	3/20家人が風呂釜からの出火に気付き、御自身で消火した。ガス会社の訪問確認により機器内部に一部焼損跡を確認した。		
B2G13-052	2013/03/16 知	2013/12/20	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用, 屋外式)	東京都	機器の外装、フロントカバーの変形	なし	ガス設備の定期保安点検に訪問した時に、機器の外装及びフロントカバーが変形しているのを発見した。		

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	公表日	製品名	事故発生 場所	被害状況		事故の内容	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
					物的被害	人的被害			
B2G13-051	2013/03/16	2013/12/20	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用, BF式)	東京都	外装ケーシングの一部変形	なし	使用者から風呂釜の点火操作を繰り返し行った際に大きな音がしたとの連絡を受け、ガス事業者の緊急部署が訪問しBF式風呂釜のケースが変形しているのを確認した。		
B2G13-050	2013/03/15 知	2013/12/20	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用, BF式)	東京都	機器ケーシング一部変形	なし	新入居開栓作業で、当該ふろがまのケーシングが一部変形しているのを確認した。原因は、点着火操作を繰り返したことで機内に未燃ガスが滞留し、その後の点火操作で異常着火したものと推測した。		
B2G13-049	2013/03/14 知	2013/12/20	強化ガスホース用接手金具(都市ガス用)	神奈川県	強化ガスホースの一部が焼損	なし	強化ガスホース器具側接続部に焼損痕がある		
B2G13-048	2013/03/13	2013/12/20	ガスふろバーナー(都市ガス用, CF式)	兵庫県	器具焼損	なし	3月13日に家人が風呂を沸かそうとしたさい、出火に気づき、消火した。翌日ガス会社に修理依頼があり焼損を確認した。		
B2G13-047	2013/03/12 知	2013/12/20	ガスふろがま(都市ガス用, BF式)	東京都	機器ケーシング一部変形	なし	定期保安点検で、当該ふろがまのケーシングが一部変形しているのを確認した。原因は、点着火操作を繰り返したことで機内に未燃ガスが滞留し、その後の点火操作で異常着火したものと推測した。		
B2G13-046	2013/03/11	2013/12/20	ガスふろがま(都市ガス用, BF式)	神奈川県	機器点火確認窓破損、機器ケーシング等一部変色	なし	機器使用中、機内に火が見え、点火確認窓が破損し機器ケーシング等の一部を焦がした。原因は、約34年の長期使用でガス回路の部品が2次漏れを起こしたことによる。		
B2G13-045	2013/03/07 知	2013/12/20	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用, BF式)	東京都	外装ケーシングの一部変形	なし	ガス設備の定期保安点検で訪問時にBF式風呂釜の外装ケースが変形しているのを発見した。		
B2G13-044	2013/03/06	2013/12/20	ガス栓(都市ガス用, 2口)	東京都	ゴムキャップ、ガスソフトコードの一部焼損	なし	調理実習でガスコンロを使用するのに、コンロ接続側と未使用側のガス栓ツマミを開の状態にして、調理を行ったところ、ガス栓付近に火が着いた。		
B2G13-043	2013/03/05 知	2013/12/20	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用, BF式)	埼玉県	外装ケーシングの一部変形	なし	ガス設備の定期保安点検で訪問時にBF式風呂釜の外装ケースが変形しているのを発見した。		
B2G13-042	2013/03/05 知	2013/12/20	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用, BF式)	東京都	外装ケーシングの一部変形	なし	機器修理に訪問した時にBF式風呂釜の外装ケースが変形しているのを発見した。		
B2G13-041	2013/03/05	2013/12/20	ガスこんろ(都市ガス用, 卓上型)	東京都	なし	軽傷	テーブルコンロのグリル排気口カバーを外し、スポンジにてグリル排気口カバーの裏側を掃除していた際、ふちの部分で指に擦過傷を貰った。なお清掃時は手袋を付けていなかったとの事。		
B2G13-040	2013/03/03	2013/12/20	ガスこんろ(都市ガス用, クッキングテーブル)	大阪府	機器の一部焼損	なし	約40年前に製造したクッキングテーブルです。食卓に組み込まれたガスこんろの、ガス接続部パッキンの破損により、微量のガスが漏洩し、使用中のこんろバーナーの炎が引火し、テーブル裏のこんろ部に焦げ跡がついた。		
B2G13-039	2013/02/27	2013/12/20	ガス瞬間湯沸器(都市ガス用, 屋外式)	静岡県	本体毀損	なし	ケーシング前部が損傷した。経年劣化により燃焼室が異常過熱を受け、燃焼室の一部が損傷し排気があふれ、ケーシング前部が損傷するに至ったと推定した。		

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	公表日	製品名	事故発生 場所	被害状況		事故の内容	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
					物的被害	人的被害			
B2G13-038	2013/02/26	2013/12/20	ガス給湯付ふろがま(LPガス用, 屋外式)	千葉県	器具の一部焼損	なし	お湯を使用時に「ボン」と音がし、その後通水音とガス臭がしたため、外に出ると給湯器が焦げていた。		
B2G13-037	2013/02/25 知	2013/12/20	ガスふろがま(都市ガス用)	東京都	外装ケーシングの一部変形	なし	ガス栓の修理で訪問したお客さま宅のBF式風呂釜の外装変形を発見した。		
B2G13-036	2013/02/22	2013/12/20	ガス栓(都市ガス用)	京都府	網戸の一部と換気扇のフィルター焼損	なし	コンロ下部の収納スペース奥にあるネジガス栓をプラグ止めなしに放置したことで、収納スペースへの鍋の出し入れにより当該ガス栓のつまみに接触し開放状態になりガスが漏れた。		
B2G13-035	2013/02/19 知	2013/12/20	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用, 屋外式)	東京都	機器フロントカバーの変形	なし	ガス設備の定期保安点検で給湯器のフロントカバーの変形を発見した。		
B2G13-034	2013/02/15	2013/12/20	ガス瞬間湯沸器(都市ガス用, 屋外式)	静岡県	本体毀損	なし	ケーシング前部が損傷した。経年劣化により燃焼室が異常過熱を受け、燃焼室の一部が損傷し排気があふれ、ケーシング前部が損傷するに至ったと推定した。		
B2G13-033	2013/02/14	2013/12/20	二口ヒューズガス栓(LPガス用)	千葉県	つまみの一部焼損	なし	消費者がコンロを使用する際、二口ヒューズガス栓の未使用側のガス栓を開けコンロの点火操作をしたところ、未使用ガス栓から漏洩したガスに引火してつまみの一部が焦げた。		
B2G13-032	2013/02/09 知	2013/12/20	ガス給湯付ふろがま(BF式)	東京都	機器ケーシング一部変形	なし	定期保安点検で、当該ふろがまのケーシングが一部変形しているのを確認した。原因は、点着火操作を繰り返したことで機内に未燃ガスが滞留し、その後の点火操作で異常着火したものと推測した。		
B2G13-031	2013/02/06 知	2013/12/20	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用, BF式)	東京都	機器ケーシング一部変形	なし	定期保安点検で、当該ふろがまのケーシングが一部膨らんでいるのを確認した。明確な原因の特定には至らなかった。		
B2G13-030	2013/02/05	2013/12/20	ガス瞬間湯沸器(都市ガス用, 開放式)	千葉県	換気扇フィルターの一部焦げ	なし	お客様より「台所の湯沸器を使用した際、上部から火が出て換気扇のフィルターが焦げた」との連絡。		
B2G13-029	2013/02/05	2013/12/20	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用, BF式)	神奈川県	外装ケーシングの一部変形	なし	風呂釜の口火の点火操作を繰り返し行った際に大きな音がして外装ケースが膨らんだ。		
B2G13-028	2013/01/31 知	2013/12/20	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用, BF式)	東京都	外装ケーシングの一部変形	なし	ガス事業者の協力企業が修理依頼を受け訪問した時にBF式風呂釜の外装ケースが変形しているのを発見した。		
B2G13-027	2013/01/30	2013/12/20	ガスこんろ(都市ガス用, 卓上型)	愛知県	本体、こんろ台、床の一部を焼損	なし	ガスこんろとその周辺が焼損した。ガスこんろ近傍にあった可燃物が引火した、不注意が原因と推定した。		
B2G13-026	2013/01/29	2013/12/20	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用, 壁貫通型)	神奈川県	機器一部破損	なし	台所でお湯を使おうとしたがお湯にならないため、繰り返し操作したところ、大きな音がして浴室外壁部に設置してある機器のフロントカバーが変形した。機器給排気部に外壁塗装の養生シートを被せた状態で使用したため、正常に点火せず、滞留したガスに引火したものと推定。		

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	公表日	製品名	事故発生 場所	被害状況		事故の内容	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
					物的被害	人的被害			
B2G13-025	2013/01/28 知	2013/12/20	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用)	千葉県	外装ケーシングの一部変形	なし	修理訪問時に外装ケースの変形を発見した。		
B2G13-024	2013/01/28 知	2013/12/20	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用, BF式)	東京都	機器ケーシング一部変形	なし	給湯器の修理で訪問したお客様宅で、当該ふろがまのケーシングが一部変形しているのを確認した。原因は、点着火操作を繰り返したことで機内に未燃ガスが滞留し、その後の点火操作で異常着火したものと推測した。		
B2G13-023	2013/01/28 知	2013/12/20	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用, BF式)	千葉県	外装ケーシングの一部変形	なし	修理訪問時に外装ケースの変形を発見した。		
B2G13-022	2013/01/28	2013/12/20	ガス瞬間湯沸器(都市ガス用, CF式)	東京都	製品の一部に焦げ	なし	当該製品の一部が焦げた。ガス点火部の一部に部品の欠品があった。		
B2G13-021	2012/01/27	2013/12/20	ガスオープン(都市ガス用)	愛知県	なし	なし	お客さまから「突然ファンが回る音がしたり、庫内灯が点いたり、ガス臭がした。」との連絡を受け、現場にて機器点検を行うも、勝手に作動することも無く、機器のガス漏れも無かった。		
B2G13-020	2013/01/24 知	2013/12/20	ガス給湯付ふろがま(BF式)	東京都	機器ケーシング一部変形	なし	定期保安点検で、ふろがまケーシングが一部変形しているのを確認した。原因は、点着火操作を繰り返したことで機内に未燃ガスが滞留し、その後の点火操作で異常着火したものと推測した。		
B2G13-019	2013/01/24 知	2013/12/20	ガス給湯暖房機(給湯・暖房・ふろ)兼用)	吹田市	当該機器フロントカバー変形	なし	当該機器の修理依頼を受けて訪問したところ、機器フロントカバーが変形していた。		
B2G13-018	2013/01/23	2013/12/20	ガスこんろ(都市ガス用, 組込型)	福岡県	機器内部の一部焼損	なし	・アフターサービスの部品交換作業時に、接続用のリングの取付作業にミスがありリングに傷をつけたため、機器内で微量のガスが漏れ、この漏洩ガスにグリルバーナーの炎が引火し、機器内部の電気配線の一部が焦げた。		
B2G13-017	2013/01/23	2013/12/20	ガスふろがま(都市ガス用, BF式)	兵庫県	機器一部焼損	なし	ガス事業者様が、お客さまより「風呂を沸かすために点火した後、浴室に入ったところ風呂釜前蓋が焦げていた」と受付され、現場へ到着したところ、当該機器の前板の焼損を確認された。		
B2G13-016	2013/01/21 知	2013/12/20	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用, BF式)	東京都	外装ケーシングの一部変形	なし	機器の修理依頼を受け訪問した時にBF式風呂釜の外装ケースが変形しているのを発見した。		
B2G13-015	2013/01/19	2013/12/20	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用, BF式)	東京都	外装ケーシングの一部変形	なし	機器の点検要請で訪問した時にBF式風呂釜の外装ケースが変形しているのを発見した。		
B2G13-014	2013/01/18	2013/12/20	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用, 屋外式)	神戸市	機器本体のフロントカバー変形	なし	建物の外壁塗装工事の為、機器の給排気口部を養生シートで覆った状態で給湯を使用し、異常着火によりフロントカバーが変形した。		
B2G13-013	2013/01/16	2013/12/20	ガスふろバーナー(都市ガス用, CF式)	大分県	器具焼損	なし	1月16日に消費者がガス会社に焼損を報告した。		
B2G13-012	2013/01/16	2013/12/20	ガスふろバーナー(都市ガス用, CF式)	大分県	器具焼損	なし	1月16日に消費者がガス会社に焼損を報告した。		

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故

※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの

※3 B2:「B1」以外の事故

JGKA 管理番号	事故発生日	公表日	製品名	事故発生 場所	被害状況		事故の内容	経済産業省 製品事故判定第三者委員会 の調査結果	備考
					物的被害	人的被害			
B2G13- 011	2013/01/15	2013/12/20	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用, 屋外式)	神奈川県	機器フロントカバーの変形	なし	屋根からの落雪により排気口が閉塞して異常着火に至った。		
B2G13- 010	2013/01/14 知	2013/12/20	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用, BF式)	東京都	外装ケーシングの一部変形	なし	ガス事業者の協力企業が、空部屋のガス機器の点検依頼を受け訪問した時にBF式風呂釜の外装ケースが変形しているのを発見した。		
B2G13- 009	2013/01/14	2013/12/20	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用, 屋外式)	埼玉県	機器フロントカバーの変形	なし	屋根からの落雪により給湯器が排気閉塞され異常着火した。		
B2G13- 008	2013/01/14	2013/12/20	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用, 屋外式)	埼玉県	機器フロントカバーの変形	なし	屋根からの落雪により給湯器が排気閉塞され異常着火した。		
B2G13- 007	2013/01/14	2013/12/20	ガスふろがま(都市ガス用, BF式)	山口県	外装ケーシングの一部変形	なし	風呂釜使用中、途中失火した為、再点火操作を行っている途中で異常着火し外装ケースが変形した。		
B2G13- 006	2013/01/14	2013/12/20	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用, FF式)	神奈川県	器具変形	なし	ケーシング変形		
B2G13- 005	2013/01/14	2013/12/20	ガスふろがま(都市ガス用, BF式)	山口県	外装ケーシングの一部変形	なし	風呂釜使用中、途中失火した為、再点火操作を行っている途中で異常着火し外装ケースが変形した。		
B2G13- 004	2013/01/08	2013/12/20	ガス給湯暖房機(都市ガス用, 給湯・暖房・ふろ兼用)	大阪市	外装ケース変形・機器内一部焼損	なし	暖房使用中に異音がして、機器本体の外装ケースが変形した。また内部電装部の一部に焦げ跡が見られた。		
B2G13- 003	2013/01/07	2013/12/20	ガス給湯付ふろがま(都市ガス用, 屋外式)	福岡県	器具のフロントカバーとPS扉の一部が変形	なし	外壁塗装工事の養生シートで覆われた給湯器を使用し、異常着火した。器具のフロントカバーとPS扉の一部が変形した。		
B2G13- 002	2013/01/06	2013/12/20	ガス迅速継手(都市ガス用, ゴム管用ソケット)	神奈川県	機器一部焼損	なし	使用者がガスコンロに火をつけたところ、ガス栓と接続したゴム管用ソケット付近より炎が出た。原因は、ゴム管用ソケットとガス栓が不完全な接続状態であったため、漏れいた微量のガスにガスコンロの炎が引火したものと推定。		
B2G13- 001	2013/01/06	2013/12/20	ガス給湯付きふろがま(都市ガス用, 屋外式)	東京都	器具を含め物的被害はありません	火傷	循環アダプターからのお湯で熱傷を負った。		

※1 A2:重大製品事故以外の製品事故
 ※2 B1:「A製品事故」以外の事故で、危害が「A1、重大製品事故」と同じもの
 ※3 B2:「B1」以外の事故